新京日日新聞
夕刊
三月十八日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

列國の態度如何が今後に殘された問題

開國八十年初めて樹立された自主的外交の確立

內閣の政綱聲明

【東京國通】十七日公表された政府の外交方針の核心は日滿兩國の不可分關係を基調として

東亞 の安定勢力の實を擧げる點にある、然も從來と異るところはこれまで外交工作を施し然る後機の熟するのを待つて外交を爲すにあつたが今回これを一擲し右の大目的に向つては凡有る障害、反對を押切り積極的に所信の貫徹を期するといふ開國八十年にして始めて樹立された劃期的なる自主的外交を斷行せんとするものである、これを具體的に言へば日滿關係の不可分緊密を圖るべく議定書の精神に基いて在滿兵力の充實に意を注ぎ、一方ソ聯邦、支那との外交關係を調整し前者にあつてはソ滿國境の兵力撤退、國境紛爭の解決に力を竭し、また對支關係にあつては日滿支三國の融和親善目的より支那の覺醒、猛省を促し、三原則の實現を期し又東亞安定責任者として英米が東亞に於て政治的、經濟的に活動する場合は帝國政府との諒解を必要とする所以を強調し、對英米關係と東亞問題を調整せんとするもので廣田兼攝外相は既に在京各國大使館に此外交精神を通告してゐるから今後此方針に對し

列國 が如何に對應するかイギリスが滿洲國承認を率先斷行せんとの底意を帝國政府に表明してゐる折柄その成行は注目されてゐる

政府の聲明と貴衆兩院の批評

貴族院

【東京國通】十七日公表された廣田內閣の政綱政策に對し貴衆兩院側は左の如く批評した

政府の聲明を見ると洵に結構である、但し國民の首を長くして聞かんとする肅軍の徹底のことについて觸れなかつた事は如何にも物寂しく思ふ、今後の緊張した精神を長く繼續して聲明に盛られた內容を忠實に實行して貰ひたい、齋藤內閣も岡田內閣も結構な聲明を屢々發表したが然し無爲にして過した、これは眼前の次々と起る困難と事務に沒頭し初めの緊張した精神の[illegible]を忘却したからである、廣田內閣は次々と起る困難事務に沒頭せずに大局に立つて理想を放棄せず不斷の努力を拂つて聲明を實現されることが國家に盡す所以である

民政黨

廣田內閣の政綱聲明は一讀するに此非常時局に鑑み民心を安んじ人心を一新するの政綱政策の發表あることを期待してゐたが餘りに抽象的に過ぎたことは吾人の遺憾とするところであらう、但し內外時局を達觀して庶政を一新し確固たる決意を以て難局を打開せんとする精神はこれを諒とする事が出來る、要は聲明よりも實行にあるを以て政府は宜敷く此の精神に基き速かに具體的に政策を樹立して此非常時局の打開に邁進せられん事を切望する

政友會

廣田內閣の發表した所謂政綱なるものはその精神に於ては何れも共鳴すべきものである、然し國民が新內閣に期待するところのものはその內容の如何にあるので、從つて政府が今後その精神に基いて研鑽を積み速かに之を具體化して一日も早く實現せんことを望むの他はない

歷代天皇、皇族の實錄編纂近く完成

【東京國通】神武天皇以來皇統連綿孝明天皇に至る光輝ある我皇室の歷代天皇、皇族實錄は宮內省圖書寮編纂課に於て既に十七年の年月を費し編纂中上げてゐたが、最近略々完成し來る七月中に製本の上天覽に供し奉り、永く御保存あらせられる事になつた、御歷代の御實錄は明治天皇の御代に立案大正九年に至つて計畫が實現され、昭和五年以來本格的に編纂が進められたのであつたが、歷代天皇、皇族の宸翰、御日記其他御親書、御染筆、宮中諸記錄公卿記錄など宮中東山文庫圖書寮等に御所藏の貴重な御物をも資料として愼重調査研究され、史實の正確を期し奉つたもので原稿は用紙卅萬枚に達し全部完成すれば七萬餘頁の尨大な御記錄になる豫定である

遞信省の無電五ヶ年計畫 徹底

【東京國通】躍進する我對外貿易につれて遞信省では對外通信の自主的確立、國際貸借の改善、電信利用者負擔輕減の見地から無線國策の徹底を期して國際無線電信の既存設備の改善を行ふこととなり今年から對外無線電信、五ヶ年計畫を樹立し我國の對外無線通信の面目を一新することゝなつた、この計畫は先づ東京大阪の二ヶ所に送受信所を設け東京は原則として對米通信及對歐洲通信、國際無線電信放送をなし、大阪は對歐洲通信の一部と對極東、南洋通信を行ふもので此の爲名古屋の對外無線電信は廢止されることゝなつた、それで送受信所は東京方面では既設の小山送信所、福岡受信所を充て、大阪方面では送信所は既設の依佐美で受信所は從來の四日市を廢し新たに兵庫縣に新設することゝなり、此の設備は昭和十二年度末までに完了の豫定である、而して之等の設備を完了するまでもなく遞信省では此の五ヶ年計畫の下に對米方面ではニューヨーク、カナダ、コロンビア、ペルー、チリー、パナマ、對歐洲方面ではベルギー、スエーデン、ノルエー、ヨーロッパではロシア、オーストリー、チェッコ、トルコ、更に對極東、南洋方面では青島、天津、香港、廣東、漢口、濠洲、馬來聯邦、南阿聯邦、エヂプト、イラン、ニュージーランド等の廿五方面を豫定相手國として

擴張 することになつた、之が完成の曉は現在開通の廿方面と併せて四十五方面の各國と通信連絡が出來る譯である

滿ソ同數領事館設置 ソ聯拒絕的態度

昨日の施、ス兩氏會見席上 或種の條件を提示

【ハルビン國通】外交部北滿特派員施履本氏は十七日午前十一時半ソ聯領事スラウツキー氏を訪問、去る十四日ソ聯政府より爲されたるハバロフスクに於ける滿洲國領事館設置同意勸告に對し滿洲國側の意向を回答すると共に種々折衝するところあつた、右會談の模樣は嚴秘に附されてゐるが滿洲國側は右ソ聯の同意を兩國同數領事館實現の第一歩として取扱ひあくまでその實現を要求したに對しソ聯側は依然拒絕的態度をとると共にハバロフスク領事館設置についてソ聯一流の駈引から或種の條件を提示し來つた爲何等決定を見るに至らなかつた模樣である（寫眞は（上）ス總領事（下）施代表）

日滿經濟共同委員會委員に守屋氏任命

日滿經濟共同委員會の日本側委員谷大使館參事官が轉任したゝめ守屋參事官が委員代理をつとめてゐたが谷參事官の轉任發令と共に近く守屋參事官が正式に委員に任命されることゝなつた

松井大將 上海發歸國

【上海十八日發國通】月餘に亘る中南支の視察を終へた松井大將は午前九時出帆の長崎丸で離滬故國へ向つた

兒玉中將來京

〇〇〇團長兒玉中將は十八日午後二時着アジアで來京滿蒙旅館へ投宿した

北支視察より歸任の磯谷少將語る

【上海十七日發國通】磯谷少將の北支視察の目的は駐支武官として今後南京政府と交涉を進める爲の下準備とみられ同少將の對北支認識は日支關係調整上重大役割を演ずるものとして注目されてゐるところであるが十七日午後二時記者團との會見に於て北支視察につき左の如く語つた

北支に對する期待が大きかつただけに現狀に接してみると色々遺憾の點が目についたその一を擧げてみると北支一般が冀察政務委員會の政策實行に對して非常な不安を懷いてゐる、此不安が北支政情の明朗性を阻害してゐるのではからうか、委員會だけについても現在實現せるものは外交と財政だけである

他の委員會に於てもメムバー丈け決定してゐても任命しなければ何もならない、任命し得ない人員は一々南京政府の指令を受けて行はねばならない點にある、委員會の任命權は委員長たる宋哲元氏にある筈だから任命しやうと思へば今でも出來る筈だ、此點を指摘したところ宋氏の意向を糺したところ宋氏は冀察政權の方針は

一、日滿支提携
一、內政の刷新

此二大政綱にあり、南京政府の指示を得て行ふ、若し南京政府にして此二大政綱に反するやうなことを使命とするならば冀察政權はきつぱり之を拒絕すると明言してゐた、要するに日本官憲としても從前通り冀察政權に對し鋭意努力し絕へず出來るかぎりの援助を惜まぬ覺悟で臨まねばならぬが、一方南京側としても冀察政權二大政綱實行に援助することが大局から見て南京政府自身の利益ともなるのだ

尙同少將は來る二十三、四日頃南京に赴き何應欽、張群其他國務要人と會見、重要協議を遂げる豫定である（寫眞は磯谷少將）

十一年度實行豫算は前內閣方針踏襲

【東京國通】十七日の定例閣議は午前十時半より永田町首相官邸に於て開會、廣田首相以下各大臣出席先づ中外に闡明すべき政綱政策原案を附議し馬場藏相、吉田調查局長官次田法制局長官等の起草委員によつて立案された右案に對して各閣僚より忌憚なき意見の開陳があり、草案中の一部字句の修正を爲す必要ありと認めた結果午後改めて起草委員の手許に於て修正個所を審議することにし午後五時より閣議を再開して正式決定をなし次で實行豫算の編成に關しては前內閣に於て決定せる編成方針をそのまゝ踏襲することに意見の一致を見た次で第六十九特別議會召集詔書公布の件を附議し召集日を五月一日會期を三週間と決定、來る廿日各大臣の副署を經て上奏御裁可の上直に公布手續をとる事とし午後零時一應散會した

四月上旬迄に編成

【東京國通】特別議會に提出すべき昭和十年度實行豫算編成は大體に於て前內閣の方針を踏襲し此方針に基いて來月上旬頃迄に大藏省に於て編成を終り閣議に上程する豫定である

而して廣田內閣の新方針に基く新規經費にして緊急を要するものは追加豫算として提出する方針であるが、財源としては新規の方策を講ずる期間の餘裕がないので大部分を公債發行に仰ぐ筈である

十七日の閣議に附議された昭和十一年度實行豫算編成方針の各項目は左の如くである

一、不成立豫算に計上したる經費にして所管と大藏省との間に實行豫算に計上する事に協議纏りたるものを以て正式決定に至る迄假に之を實行豫算額として取扱ふ事

一、不成立豫算に計上したる經費は實行豫算に計上し得るものと雖も實行豫算の正式決定に至る迄之が計上を保留する事但し特に已むを得ざる事由あるものに於ては所管省と大藏省との協議により前項に倣ひ之が計上を爲す事あるべき事

三、各特別會計に就ても前各項に準ずる

二・二六事件 關東局臨時警備費支出

【東京國通】政府は二・二六事件に關する關東局管內臨時警備費として第二豫備金及剩餘金より左の如く支出する事に決し勅裁を得て十七日官報で公示した

第二豫備金 二萬四千五百十八圓
剩餘金 十一萬一千九百卅五圓
合計 十三萬六千四百五[illegible]三圓

人事往來

▲兒玉中將（第〇〇〇團長）十八日午後來京滿蒙旅館
▲高山勝司氏（旅順市長）十八日午前旅順へ
▲沼田少佐 同大連へ
▲大野大佐 同ハルビンへ
▲岩越中將 同午後ハルビンより
▲山岡中將 同遼陽より
▲高島源太郎氏（航空會社員）十八日午前奉天へ
▲石川清行氏（帝國人造絹糸會社）同來京國都ホテル
▲神田計司氏（北滿產業研究所）十七日午後市內へ
▲原田武雄氏（チチハル憲兵隊員）同チチハルへ
▲森岡俊介氏（大連市囑託）同奉天へ
▲高崎季夫氏（陸軍少佐）同ハルビンへ
▲岡碩人氏（大同殖產）同來京國都ホテル
▲手塚庄三郎氏（三井物產）同
▲中原役太郎氏（日本ポリドール滿洲支店長）同
▲高須裕三氏（電業會社）同
▲肥耕三氏（大倉組）同
▲島崎庸一氏（航政局員）同
▲峯岸光彥氏（滿洲拓殖）同
▲寺阪長治郎氏（藥種商）同午前來京名古屋ホテル
▲長濱嘉一郎氏（同）同
▲中村源三郎氏（輸出業）同
▲宮崎義一氏（陸軍大尉）同午後同
▲栗本秀顯氏（外務省官吏）同
▲佐々木猛馬氏（同）同
▲內田禎一氏（醫師）同市內へ
▲羽山喜郎氏（陸軍中佐）同奉天へ
▲細木繁氏（同）ハルビンへ
▲山本市良次氏（芝浦製作所員）同大連へ
▲河內由藏氏（滿洲國官吏）同午前來京ヤマトホテル
▲桝谷秀夫氏（安東領事）同
▲古塚正治氏（神戶商大教授）同
▲八木間一氏（滿鐵審查役）同
▲本庄庸三氏（大同酒精副社長）同
▲人見雄三郎氏（滿鐵）同午後同
▲和田節治氏（會社員）同
▲新居四郎氏（富士電機）同
▲高木磐雄氏（大連汽船常務）同
▲安川征氏（同社長）同
▲水地慶治氏（同社員）同
▲下津春五郎氏（哈市水運局長）同
▲一瀨恕海氏（關東局囑託）同
▲矢中快輔氏（會社員）同午前奉天へ
▲一藤庄四郎氏（ハルビン總領事）同
▲長谷川幸平氏（辯護士）同ハルビンへ
▲升中又喜氏（鐵路局員）同吉林へ
▲堀江元一氏（奉天鐵道工務課長）同午前奉天へ
▲三浦彥臣氏（滿鐵）同午後大連へ
▲中澤一雄氏（鐵路局員）同吉林へ
▲橋本善治郎氏（機械商）同大連へ
▲森傳次郎氏（會社員）同奉天へ
▲猪鳥安三氏（同）同
▲石川岩雄氏（アスファルト會社）同奉天へ
▲宇都宮德馬氏（實業）同
▲加治武男氏（陸軍少佐）同午前ハルビンへ
▲近藤嘉名男氏（同少佐）同午後チチハルへ
▲館林源右衛門氏（陶器商）同ハルビンへ
▲又重武氏（官吏）同ハイラルへ
▲村田正雄氏（綿布商）同大連へ
▲黑須源之助氏（步兵少佐）同奉天へ
▲松村泰暢氏（滿鐵）同午後來京新京ホテル
▲山岡仁七氏（吳服商）同
▲石黑南州夫氏（滿鐵）同
▲和泉少將 十七日午後公主嶺より
▲井上少佐 同奉天より
▲廣石郁磨氏（新京署長）同奉天へ

その日〳〵

□滿ソ領事館同數設置問題、筋は通つたやうであつたがソ聯なほもぐづつく
□廣田內閣政綱、政策を聲明開國八十年初めて自主的外交を確立
□『余の在任中戰爭はない』と、これは專任外相時代の廣田さんの議會での言葉
□東京事件殉職警官への弔慰金十七萬五千三百圓に達す、弔慰の念といふものは……
□關東局警察官大異動、在滿機構改革前後のことを思へば共に感無量

乳房ある悲み

（無斷上演上映禁）
中西伊之助 作
氏 畫

父の遺言（一）（三十六）

『ドイツで二三年勉強したらフランスとイギリスだけは一二年づつゐることだ。そしてアメリカで半歲ばかりも見學してかへつて來るさい、わしも死ぬまでにも一度廻つて來たい、今度はお前と一緒に行かうよ、何をいつてもお前は赤毛布だ、そこへ行くとお父さんは向ふが第二の故鄉だからなあ』

なぞといつた。

その頃、父は一切の事業から手を退いてゐた。そして母の初產からの產褥である鵠沼の別莊で、閑雲野鶴の風流とでもいつたやうな生活をしてゐた。

父は長男の恰が死んでから見違へるほど年を老つた、もう六十を過ぎて、今までの覇氣は全くなくなつてゐた。

『日本人はだめだ、六十になると活動力がすつかり鈍つてしまふ、西洋人の方が頭はずつと早く老るが、いつまでも若いな、あれはきつと肉食のせいだよ』

なぞといつた。

齊は未來の大學教授を胸に描きながら、父の案內で、ドイツ留學の途に上つた。齊は女中に手を引かれて玉汝は乳母に抱かれて、輝かしい兄の鹿島立を橫濱埠頭で見送りながら色テープを切つた。

齊が父の義任につれられてベルリンについたのは、その年ももう冬になつてゐた。勉強のためにいゝといふので、彼等はベルリン郊外の閑靜な宿をえらんだ。

數日の間は、父の義任は齊をつれてベルリン市中を見物して廻つたが、ある夜、父は突然咯血してそれつきりで床についた。醫者は胃潰瘍だと診斷した。胃に固疾のあつた父が、久し振りで長い旅行をしたので、急に病氣が昂進したものらしい。

間もなく、父を附近の病院に入れた。が父はもう自分に死の運命の來てゐることを知つてゐた。

ある日、窓ガラスに珍しく暖かい小春日が映つてゐる時すやすやと寢臺の上で眠つてゐるらしい父はふと眼を瞪いた。

『うむ、ここはベルリンだつたね』

と父は微かにいつた。

『痛みますか？……』

二人の看護婦と共に看護をして、この一週間ほどは碌に眠らないで枕もとにゐた齊はさういつて父にきいた。

『いや、もう俺の體は全く抵抗力を失つてゐるんだから、少しも痛みなぞはしなくなつた、その代り俺はもうこゝ二三日の壽命だ……』

さういつて義任は瘦こけた顏を齊の方へ向けた。そして光りを失つた、淀んだ目でずつと彼を見守つた。

『そんなことはありません、そんな心の弱いことをいはずに早くよくなつて下さい』

齊はさういつたが、しかしその父の言葉を一概に否定することもできなかつた。齊にも父が再び今までのやうな健康な體にならうとは思はれないのだ。それほど今の父の病狀は重かつた。

『いや、だめぢや、今度こそはだめぢや、……』

と義任は苦しさうにいつた

『實は今、わしは死んだ友達の夢を見たのじや……』

と、齊の顏をしみじみと見入つた。

齊は默つてゐた。死んだ友達とはたれのことかそれを彼は知らなかつたが、さういふ父の顏は、病み衰へて、この世の人でないやうに思はれた。

『齊、今日は俺は愈々お前に遺言して置きたいと思ふのじや、今日は少し氣持もいゝから、今日そのことをいはないともういふ日がないと思ふ』

義任はさういつて、天井に目を瞑つた。

三笠小學校開校式と西廣場小學校の慰靈祭

（上）新京三笠小學校の開校式は十八日午前十時半から同校講堂に於て武田地方事務所長、山口新京警備司令官、各中、小學校長其他來賓約四百名列席のもとに擧行され辻校長の開會の辭あつて一同君が代合唱、勅語捧讀と式は型の如く進められ武田所長はじめ來賓交々起つて祝辭を述べ正午式を閉ぢた

（下）西廣場小學校では創立以來物故した兒童の靈二十二柱の慰靈祭を十八日午前九時から同校講堂に於てしめやかに執行された、定刻全職員兒童講堂に參集祭壇に向つて敬禮、瀬川校長弔辭を朗讀次で燒香に移り職員代表瀬川校長、在校兒童總代六年生稻川滿秋君、兒童の遺族六名順次燒香して祭式を閉ぢた當日は昨年物故した森崎先生の靈をも祀られた

警視級以下廿二名　關東局の大異動

本日午後二時發令さる　廣石署長も總局へ

關東局警務部定期異動は十八日午後二時發令されたが、今次の異動は治外法權の撤廢を控へ關東局警察官の滿洲國引繼ぎを考慮して行はれたもので八警視の勇退を始め管下各署にわたり二十二名の異動をみた、勇退者は夫々滿洲國鐵路總局、市役所等へ轉出してゐるが異動は左の如くである

異動發令（三月十八日附）

事務官　石橋美之介（州廳保安課長）

州廳警察部衞生課長兼務を命す

警視　猪苗代直躬（州廳）

補新京警察署長

同　鹽谷未吉（小崗子）

補奉天警察署長

兼任關東官事務官

同　田上乾吉（本溪湖）

補安東警察署長

同　淺千英（水上）

州廳警察部警務課長兼高等警察課長を命す

同　伊藤角太（奉天）

補大連水上警察署長

警部　中川義治（公主嶺）

任警視　補鐵嶺警察署長

〃　長川績（州廳）

任警視　補撫順警察署長

〃　渡邊政雄（警備課）

任警視　補本溪湖警察署長

〃　谷本甲四郎（瓦房店）

任警視　補遼陽警察署長

〃　藤島宣法（警務課）

任警視　補鞍山警察署長

〃　加藤爲一（〃）

任警視　補營口警察署長

警部　今村矩八（開原）

任警視　補大連小崗子警察署長

同　今井民造（消防）

警務部警務課兼奉天警察署勤務を命す

同　隱藏朝秀（鄭家屯）

補公主嶺警察署長

同　柴田三藤二（新京）

補開原警察署長

同　隈部績（大連）

補瓦房店警察署長

同　青木忠彦（州廳）

補大連消防署長

同　西内貞吉（大連）

補鄭家屯領事館警察署長

警視　金井溫治　奉天

同　大内佐藏　鞍山

同　星武　撫順

同　廣石郁磨　新京

同　三浦貞三　安東

同　平光治二　遼陽

同　寺尾壯吾　營口

同　井上定弘　鐵嶺

以上　依願免本官

東條警務部長談

今回の異動は過般來滿洲國鐵路總局電々會社其の他各方面に招聘せらるゝことゝなつた警視八名の退官を機會に新進氣鋭の士を拔擢し且現下の情勢から特に適材適所に配置を行つたものである、退官者は孰れも前途ある優秀な人物のみであるが他方面に轉じても同じく滿洲に在つて國家の爲に働くには變りないと思ひ割愛することゝなつたのである夫れが爲に多くの下級者の昇進の途が開かれ且當局警察界に清新の氣を注入することを得たのは喜ばしく且滿足とする處である

恐るべき感冒性腸炎　國都に流行か

羅病者數百名に上る見込み

一昨年頃内地の神奈川縣附近に猛烈な勢で流行したものに稍や似た下痢が最近新京市内に流行し羅疫者は數百名に上る模樣であるが症狀は熱がなく水樣の下痢でひどいのになると一時間數回の下痢を催すので感冒性腸炎ではないかと見られてゐる、應急の處置としては腹部を溫め直ちに醫師の手當をうけるに越したことはない、症狀から見て餘病を併發せぬ限り生命には別條なく至つて危險性は少いものと言はれてゐる

駐奉英總領事　本日北平へ

【奉天國通】奉天英國總領事バトラー氏は對滿洲國を中心とする外交問題打合せのため十八日午后二時發直通列車で北平に向ひ本國外務次官に轉出するカン駐支大使と重要會見をなすものと觀られる

好いた男と添はれず　樓主に叱られて服毒

多情な酌婦遂に絶命す

好いた男とは添はれず懊惱の目をすごしてゐる中、ふとした事から樓主にしこたま叱責されたのでかつとなり毒液を嚥下して自殺を圖つた酌婦がある—本籍宮崎縣東臼杵郡南方村大字南方生れ新京特別市東三馬路料亭美鳥抱酌婦愛吉こと柳田ウメノ（二四）は昭和十年七月二十六日前借七百圓で前記美鳥に抱へられたが至つて多情な女で間もなく情夫をつくつたが情夫はお定りの金に窮して次第に疎遠になるのを苦に病んでゐたが十七日滿鐵病院からの歸宅がおそいと樓主に叱責されたのでむつとなり午後十二時頃便所内で消毒用クレゾール液を多量に嚥下し自殺を圖り苦悶中を家人が發見直ちに順天醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが十八日午前二時頃遂に絶命した

借金を殘し若い燕と驅け落ち

飮食店千成の女將

市内富士町三丁目八番地飮食店千成主人原籍滋賀縣直木郡稻枝村字樋田齋藤タツ（三三）は最近客足が減る一方で加はるものは借金ばかりの始末、とう〳〵去る三日年下の情夫長本照夫（二九）を道連れに行方を晦ました、蝶屋洗布所の家賃を始め電燈料、ガス料その他取引關係者も相當引かゝつてゐる樣子で十八日蝶屋から所在搜査願が出た

東亞見本市

朝鮮側參加は未定

【京城支局發】從來滿洲國内で開催し來つた商品見本市は同國諸施設の進捗と國際化する見地より今年から「東亞見本市」と改稱し其の第一回を來る六月六日から九日まで三日間大連で開くことに決定し又從來の北支見本市も今年は天津を加へ青島は五月十九日から二十日まで二日間天津は同月廿七日より廿九日まで三日間開催に決定せる旨朝鮮貿易協會に通知があり朝鮮側の參加は十分研究の上近く決定するはず

寬城子附屬地の土地は特別市へ

市公署から財政部へ交渉　或は早急に實現か

現在の寬城子附屬地は全部國有財產となつてゐるが、これは行政權が特別市に移管の結果當然同公署の手に歸すべきものとの建前から目下財政部との間に交渉が進められてゐるが、財政部當局でも管理上その他の理由を以て市に讓渡するが至當として既に内諾を與へてゐるもやうで市公署側では着々準備を整へてゐる、寬城子附屬地の面積は百六十七萬四千坪で、滿鐵附屬地、商埠地、城内の面積とほゞ似たり寄つたりであるが、同附屬地讓渡の結果は現在の鐵道關係、軍用地其他を除いた凡そ半分が市有財產として新に特別市土地貸付規定によつて民間に貸付けられるわけで、同公署ではこれが讓渡とゝもに直ちに實測に着手し道路、學校など諸施設の完備を急ぐことになつてゐる

物乞ひの度を越えて強請から強奪へ

近頃國都を荒す邦人浮浪者

春の訪れと共に浮浪者の數が次第に巷に多くなり官衙、會社、銀行等舍宅街の家族はこれ等物乞ひに惱まされてゐるが數日前から日本橋通り附近に年齡三十歲位の内地人の物乞ひが各戸を訪れては金品を強要し婦女子供を脅かしてゐたが十六日午後一時頃城内某内地婦人が新京百貨店前で馬車を降り百貨店横から二階に上らんとするところへ件の物乞ひが現はれ手にせる蟇口を強奪せんとしたので婦人が大聲を發したゝめ目的を果さず逃走した、なほ警察では今後浮浪の取締は徹底的嚴重にする模樣である

出生死亡の統計

【東京國通】内閣統計局發表—昭和十年七月乃至十月の内地に於ける内地人の出生死亡の概數は出生四十九萬三千五百七十人で前年同期に比し三萬二千百九十三人を增加した、死亡は三十萬三千七百十三人で前年同期に比較すると二千八百五十八人も減少した、即ち出生死亡の差增は十八萬九千八百五十七人であつて前年同期に比し三萬五千六百四十三人を增加した、尚一月乃至九月の累計は出生百六十四萬七百六人、死亡八十八萬四百六十七人で自然增加は七十六萬二百三十九人である

宮脇情報處長　廿日歸任

私用のため赴日中の宮脇情報處長は來る廿日ひかりで歸任の豫定である

モンテカルロの悶着沙汰

こゝにも野心家の暗躍

ダンスホールモンテカルロが業績不振から營業主と出資者との間に悶着を起し、遂にその經營は出資者の手に移らうといふので街の話題を提供したが、事實は何らのことなく一部野心家がためにせんとする暗躍の結果と見られ經營者側でも大いに面喰つて目下對策講究中で、さきに演藝館の問題といひ誠に苦々しい限りとされてゐる

河相廣東總領事赴扈

【廣東十七日發國通】河相廣東總領事は來る二十一日より上海にて開催される全支總領事會議に出席の爲十九日午前六時廣東發飛行機で赴滬する豫定

香港ピナン間　航空連絡開始

【香港十七日發國通】豫て計畫中であつた英國航空會社の香港—ピナン間航空連絡は佛支航空連絡の實現に刺戟されて急速に進展し來る廿三日愈々開通の運びとなつた、初發期は廿四日ピナンから香港に到着し、廿七日ピナンに向ふ豫定である、本線はピナンに於て英本國濠洲線に連絡、英國の東洋航空網は完成を見ることゝなつた、尚連絡は每週一回兩地から出發する筈でこれに依つて香港—ロンドン間の旅程は十日間に短縮される筈である

オリムピックへ　馬術選手先づ出發

【東京國通】ベルリンオリムピック大會で再度世界制覇を目指す我が馬術陣の乘馬八頭は前回の覇者西大尉の引卒でベルリン遠征のトップを切つて十八日午前十一時橫濱出帆のドイツ豪華船シャルンホルスト號で出發する事となつた選手一は同十六日騎兵學校に集合し最後の輕い調教を行つたが上々のコンデイションであつた、四月十五日には大瀧、松井、岩橋の三選手が出發一と足遲れて稻葉中尉がシベリア經由で出發するが監督遊佐少將は最後に出發する豫定である

天氣と氣溫

明日の天氣　西の風晴

日の出　前五時四十五分

日の入　後五時　五十分

月の出　前三時　十二分

月の入　前一時　〇二分

けふの氣溫　最高零下二度一　最低零下十三度九

潛水艦使用制限案　起草完了

【ロンドン十六日發國通】軍縮起草委員會は十六日午前十時半から午後一時迄、更に午後五時から午後八時迄二回會議を開會免除條項並に潛水艦使用制限案につき略起草を完了した、潛水艦使用制限案はロンドン條約第四編に基き別個の條約として獨立させるに意見一致、草案を大體完了したので今週中第一委員會に提出十日以内に英米佛三國政府間に調印を了する見込である

街の日記

寫眞機交換即賣

市内日本橋通り二大の光園社寫眞機部の主催で來る二十日から二十三日迄の四日間祝町消防隊東隣元毛皮商シベリア商行跡を會場として寫眞機交換即賣會が開催される出品種目は寫眞機、レンズ、引伸器其他寫眞用具同書籍等で出品希望者は至急光園社へ申込されたいと

附屬地料亭水揚

大新京料理店組合側の先月總稼ぎ高は十五萬八千餘圓、これを正月に比較すれば四萬四千圓の減收になつてゐる、最も多かつたのは八千代館の二萬三千八百六十七圓三十五錢それに次いで曙の一萬五千二百五十五圓六十五錢の順序である、酒肴料、藝妓揚高、酌婦揚高に區分すれば

▲酒肴料九萬二千五百三十一圓九十七錢▲藝妓揚高四萬九千一百二十七圓十五錢▲酌婦揚高一萬六千四百九十圓五十錢

あす（十九日）

△敎育聯合會幹事會、午後一時、兩級小學校

△侍從武官平田海軍少將着京午後五時半

◇…今晩の主なる演藝放送…◇

▲七・〇〇祇園物語（名古屋）物語　市川喜美江、獨唱　神谷眞佐子▲七・二〇兩國札所ところ〴〵（大阪）▲七・四五ラヂオ聯曲「春の廻旋曲（東京）JOAK文藝部案

演藝と映畫

麗人天勝一座 愈よ明後日開演!

本紙愛讀者には優待券配布

妙技と艶麗を誇る本社後援の天勝一座は愈よ明後日より記念公會堂において華やかに蓋を開けるが、各地における好評の後をうけて新京公演も異常な人氣を沸すものと豫想される、春に魁けて開かれるこの絢爛の豪華版は蓋しファンの絶對に見逃し得ないものであらう、尚當地においては特にその演出に新機軸を見せてスピード演出を行ふ筈でこれに對しても興味深い關心をそゝるものがある、プログラムは左の通りである

一、小奇術 登美子
二、小奇術 天勝
三、ボートビル(七景)
四、コミック 名村昇 中村勝次
五、小奇術 好子
六、オペレッタレビュー「セーラーハリー」(八景)編作田中喜一、演出青柳光宏 編曲須藤鐵、大道具小山靜登、小道具金森五郎、照明山內忠吾
△ハリーアオヤギ・ミチヒロ△パーシー名村昇△レックス中村勝次△ジム(兵曹長)桂天丸△將校澤冷兒△モリー市毛花子△エリー竹內末子△トリー紅清子△酒場の女中村トミ子△ボーイ住吉初子△エレナ柳ナ、子其他踊子大勢
七、小奇術 天丸
八、スケッチ「サイダー一本」
九、ヴアイオリン獨奏 菊地樂堂
十、大魔術 天勝
十一、バラエテイ(戀の人生)振付齋田榮三郎、選曲須藤鐵、明加納軍二、衣裳芝田庄太郎、舞臺裝置小山靜登 照明山內忠吾
A朗かな娘達と男 市毛花子、紅清子
Aマルタの曲に依る(歡劇) 柳ナ、子 竹內末子
Bワルツ(アクロバット) 中村トミ子 平岡好子
Cトロット(ピクニック) 住吉初子 安田龍子△濱松よし子△川村定子△加藤粂枝△若草かほる△片岡愛子△小澤久代△高木まき△高橋久子△桂天丸△名村昇
B公園にておけさに浮れて 市毛花子 桂天丸 名村昇
C日本趣味の娘達
A戀の訪れ 紅清子△竹內末子△中村トミ子△平岡好子△住吉初子安田龍子
B戀の雪洞 天勝
Cカッポレ 市毛花子△紅清子△竹內末子△住吉初子△安田龍子
D獨唱 アオヤギ・ミチヒロ
Eジプシイの戀 亂暴ナ男アオヤギミチヒロ 劇セラレル女柳ナ子
Eジャス演奏と唄T・S・ジャズバンド ピアノ須藤鐵 マラカス菊地樂堂 トロンベット橋本次郎 サキソホン松坂正夫 ドラム澤冷兒 クラリオネット白濱忠雄 ヴアイオリン加納軍二 唄突貫ミミー
Oスペイン娘の戀 紅清子△竹內末子△中村トミ子△住吉初子△平岡好子△濱松よし子△川村定子△安田龍子△加藤粂枝△若草かほる
Hフイナレ(陽氣にはしやげ) アオヤギ・ミチヒロ 他全員
十二、曲藝サイクル・アックル 和製チャップリン 天左
十三、大魔術 天左
十四、マゲモノ・ナンセンス「彌次喜多道中記」(八景) 原作十返舍一九、補作田中喜一 各演出アオヤギ・ミチヒロ、衣裳柴田庄太郎、美髮澤みち子、舞臺裝置小山靜登、大道具千葉次郎、小道具金森五郎、照明山內忠吾
△喜多八アオヤギ・ミチヒロ△彌次郎兵衛名村昇△書籍商桂天丸△講談師中村勝次△映畫業者小山登△砂風呂ノ女市毛花子△女狐中村トミ子△番頭雲助入宮中村勝次△怪談師澤冷兒(劇中劇)アオヤギ・ミチヒロ△トム△將軍名村昇△メリー紅清子△村の青年及老人竹內末子△道具師小山靜登△監督柳ナ、子其他大勢
十五、一九三六年度封切「大魔術」天勝

時間の都合及び俳優病氣の場合はプロの增減及び代役はお許し下さい

投票殺到! 締切り十九日限り

映畫投票!

下記作品中より上映希望の作品三本を選び規定に基き御投票下さい 最高點數を獲得した映畫より順に二本、(又は三本)を來る廿四日より帝都キネマにおいて公開致します

△作品名 「エスキモー」「メリイウイドウ」「寶島」「奇傑パンチヨ」「トレーダーホーン」(新京未公開)「彩られし女性」「快盜デアボロ」「極樂發展倶樂部」「永遠の緣」「私は晝あなたは夜」「ロバータ」「流線型超特急」「今宵こそは」

△投票—官製ハガキに希望映畫の題名三つを記入
△宛名—新京永樂町四、新京日日新聞社演藝部宛
△締切り—十九日限り
△優待—當選映畫の投票者に對しては招待券贈呈、但五十名限り、定員數超過の際は抽籤による、尚右週間中には本紙愛讀者には優待券を刷込み便宜に供する

帝都新プロ "罪と罰"本月下旬封切

帝都キネマ十八日よりの番組は「男性NO・I」の日延定を變更して左の如く新興再映プロを編成、階上階下三十錢開放、前週の滿員御禮興行と銘打つて出る

▽新興現代「愉快な溜息」サトウ・ハチロウ原作婦人倶樂部連載小説映畫化、上野信二郎監督作品、月田一郎江川なほみ主演
▽阪妻プロ「曉の日本」佐々木清雄原作御色、東隆史監督作品、阪東妻三郎、櫻木梅子主演
▽新興現代「あゝ玉杯に花うけて」上島泰藏監督作品、由利健次、江川なほみ主演

なほ、當館では本社演藝部主催と「投票映畫」による特輯プロの後をうけてコロムビアの名作、ジヨセフ・フオン・スタムバアク監督になる「罪の罰」を封切る豫定であるが、封切に先立つて同映畫の試寫會が開催される筈である、引續いて四月一日よりの開館一週年記念興行は高田プロ「街の艶歌師」新興「武器なき人々」の大作二本に洋畫一本を加へた三本立興行であるが、「街の艶歌師」には高田稔の相手役として昨年開館興行のアトラクションに出演したマーガレット・ユキが出演してゐるので、奇しき廻り合せに宣傳部ではこの特色プロの强調に馬力をかけてゐる

長春座あすから新プロ "永遠に愛せよ"

長春座十九日よりの番組は左の如くパラマウント新作「永遠に愛せよ」を中心に右太プロ、第一映畫を配した三本立編成である

▽パラマウント「永遠に愛せよ」ジョージ・デュモリエの名作「ピーター・イベツトソン」の映畫化、幼い昔相親しんだ男女が再會した時には、女は既に人妻であつた、男は女の夫を過つて殺し、鐵窓に呻吟する、相擁すべくして相擁されない二人の「死よりも强い愛」が、崇高な靈の世界で、夢と想ひ出に飾られて逢瀬を愉しむ—と言つたロマンスを描くは「ベンガル」のヘンリイ・ハサウエイ、主演者の男女にはゲーリー・クーパーとアン・ハーデイングが扮する、見逃し難い異色篇

▽右太プロ「箱根八里」尾島十吉のオリヂナルものを中川信夫が監督に當つた、惡人の横暴振が事件の原因となつて箱根の山中を背景に右太衛門の颯爽たる劍の舞が堪能出來る、キャメラは興篤夫助演者は天野又一武井鶴三

▽第一映畫「男の友情」曾つて日活にあつた竹久新の第一回監督作品、川口松太郎の原作を原健一郎が脚色したもので、柳明館といふ親切な下宿屋に泊る二人の學生と、下宿屋の娘との三角關係をとりあげて男同志の友情を表面に露はしてみせたもの、主演者は夏川大二郎、武田一義、三宅邦子、摩耶まりえ等、キャメラは酒井宏

"小聯隊長" 豐樂劇場あすから

豐樂劇場十九日よりの番組は三度びテムプルの登場「小聯隊長」をトリにマキノトーキー二本を配した三本立編成である

▽フォックス「小聯隊長」「輝く瞳」に次ぐシャーレイ・テムプルの主演映畫で今度は頑固一徹な老大佐に扮するライオネル・バリモアを向ふに廻して可愛いところを發揮する、監督はデイヴィッド・バトラー、例によつて萬人向きのする好篇

▽マキノトーキー「千代田の刄傷」題名が時節柄刺戟するものがあると言ふので「松平外記」と改題された千代田の殿中に老中田沼意次の威をかる安西伊賀之介を追つて、清廉潔白の武士松平外記が勘忍袋の緒を切つて大望を果すまでの物語り、原作御色は比佐芳武、監督は松田定治、澤村國太郎と山縣直代が活躍をする

▽マキノトーキー「復活への道」田宮坊のオリヂナルものを根岸東一郎が監督に當つたマキノ現代劇第三作、中野英治と山縣直代が主演して「カチューシャ」の物語りを描く、助演者は小坂信夫花房銀子、椿三四郎等

西部劇大會 光明電影院の進出

城内永春路光明電影院では一般邦人側にも呼びかくべく十八日より左記の如く洋畫全プロを組んで乘出すこととなつた、尚今後も續々とこの試みを企てる筈でこの動向には興味深い關心が向けられてゐる

△コロムビア「黑影牧場荒し」ルイズ、キングの監督になる西部もの、バック・ジョンズが拳銃と悍馬を武器に盛んに活躍をする
△コロムビア「正義の反逆」右同樣バック・ジョンズの主演する西部もの、時代を南北戰爭直後にとり暴威を振ふ惡漢團を撲滅する活劇、監督はジョージ・B・サイツ

雜音

豐樂の「名畫大會」當る、異色プロの編成は遂に此處の寶刀とは成つた▲帝都「NO・I」の續映を中止して、再映大會御禮興行に移る、料金三十錢階上階下開放▲光明電影院「西部劇大會」を組んで、邦人ファン層に進出する、此處も料金三十錢だ▲近頃はやすいこと流行り、辛棒デキまい▲共だをれせんやう、皆んなが良いやうに、又協定でもやりませう▲豐樂に「生きてゐるモレア」帝都に「罪と罰」、新キネに「人生劇場」、これに長春座の「永遠に愛せよ」を加へて高級ファンに喜ばれる文藝ものの氾濫▲文藝ものだけではない、新京には近頃映畫が氾濫してゐる

奉天鐵西工業地に 化學界三社進出

日本皮革、神東塗料及び 帝國酸素工場建設に着手

滿洲國に於ける經濟建設は內地に於ける經濟情勢の變化に拘はらず當初の方針に從つて着々各方面に建設の斧が朗かに進行しつゝあり就中奉天鐵西に於ける工業地帶の躍進は素晴らしきものがあり工業都奉天の聲は各方面に明朗な氣分を與へてゐるものゝ如くであるが、このうちにあつて化學工業工場に關するものにつき以聞するにかねて滿洲進出を決意し着々準備を進めつゝあつた日本皮革、神東塗料の二社は今回帝酸の滿洲公司と同時に奉天市當局との間に工場敷地買收の交渉がなり、前記三社では來る四月頃より一齊に工場建設に着手することを確言してゐる模樣である、而して右三社の工場敷地は日本皮革約一萬八千坪、神東塗料五千坪、帝酸滿洲公司三千坪であると

滿洲亞鉛鍍會社で 鍍金爐を增設

中山製鋼所は雜品に轉向

鞍山滿洲亞鉛鍍會社では現在の生產能力一ヶ月三十五萬枚を以つてしては滿洲の需要を辛じて滿たす程度で關東州に亘る全需要をカバーすべく鍍金爐を二基增設して三基とする事とし目下準備を進めてをり五月末頃增產設備完成の豫定である、その結果昨年中滿洲亞鉛鍍會社設立に絡まり問題を惹起した神戶中山製鋼所奉天分工場は全く滿洲に於いて立ち行かなくなり同工場は釘その他雜品製造に方向轉換して滿洲鉛亞鉄板界は昭和製鋼所滿洲亞鉛鍍會社の系統に統一されるわけである

新京組合銀行 預金激增す

新京組合銀行二月末に於ける預金貸出を見るに前月に比して頗る激增を示し殊に預金に於てはその額目立つて多く新京の貯金熱を明示してゐるものゝ如くである預金に就いて見るに金票では正金が首位で五〇五三一二七・七七圓 正隆が第二位で四九五四六七六・三六圓次が鮮銀の四六三三二二〇・一七圓が新京組合銀行中主なるもので國幣は中銀が何んと言つて御本尊だけあつて各支行合せて二八二〇八七五・二四五五圓の預金額を示してゐる同組合銀行に於ける總預金高を示すと三〇八三四四・四六圓の巨額で同組合銀行貸出總額を示せば

金票	[illegible]圓
鈔票	[illegible]圓
國幣	[illegible]圓

貸出に於ける金票は東拓が第一で三三四六九三〇・〇七圓次は正隆の二九八〇九一二・一九圓鮮銀の二四四九三七七・五〇圓中銀は預金額と同樣首位を示めて支行合せて二二

新京特產の三月上旬の馬車持込數

某大手筋の調査によれば新京附近特產穀物三月十一日現在の馬車持込數は大體次表の如くである（單位一、三キロトン馬車一台）

日數	頭道溝	南關
一日	一六〇	七〇
二日	一五〇	四〇
三日	一六〇	四〇
四日	一〇〇	三〇
五日	八〇	四〇
六日	九〇	三〇
七日	一〇〇	五〇
八日	八〇	四〇
九日	一二〇	六〇
十日	一〇〇	七〇
十一日	一五〇	六〇
計	一、二九〇	五三〇
合計	一、八二〇車	

新京に於ける麻袋（上）

=商工會議所調查=

麻袋は大豆、高粱其他の穀類の輸送に當り其の包裝用として缺くべからざるものであり從て新京の如く特產物の集散多き地方では主要輸入品となつてゐる

麻袋は印度に於ける輸出品の著名なるもので原料は田麻科に屬する一年草の黃麻と稱する植物から採取した纖維であるが滿洲國內產麻袋の原料は榮麻と稱する錦葵科の一年草から採取した纖維であり其の細美の程度と强靱さに於ては兩者間に大差無いが染色の容易なる點では後者が勝つて居り遼河、太子河及渾河等の沿岸一帶の地方に栽培される

印度に於ては主としてカルカッタ市よりガンヂス河の上流二、三里の地方に數十の工場があり各工場の操業樣式は大體左の如くである

先づ黃麻を撰別して柔軟機にかけ之を櫛梳して根の部分を切り取り纖維を細く裂きて帶狀となし引伸機にかけたる後紡錘に卷き取り織機にかけて織り出された麻布所要の長さに切る爲裁斷機にかけて得たる一定の廣さのものを二つ折とし兩側を縫合すのである

以上の如き操作を經て得たる麻布は其の製造原料の品質優良なるものはヘシアンと稱し袋となさず布の儘主として米國に輸出され、粗惡なる原料を使用したるものが一名ヘビシイと稱せられて麻袋材料となるのである

前述の如き操作を經て製造された麻袋は左の如く類別される

イ、使用の度數に依る類別

新麻袋……全然使用したることなき新品

古麻袋……一度以上使用されたる舊品

然して古麻袋は使用の度數により一度のものを一明と稱し以下度數に應じて五明迄あり之れ以上になると損傷に依り使用に耐へなくなる事が多い

然して滿鐵の混合保管制度に依れば小麥の包裝麻袋は新品たることを要するが大豆の場合には一明、二明等に區別することなく實物本位の檢査を行ひ合格品のみが使用される

ロ、規格に依る類別

鐵筋（藍扛麻袋）

縱四〇吋、橫二八吋、重量二・二五磅にして袋面中央に幅二吋の藍色縱筋がある

靑筋（綠扛麻袋）

縱四三吋、橫二九吋、重量二・五磅にして袋面中央に幅二吋の綠色縱筋がある

然して新京に入荷さるものに相場の關係に依り新麻袋が多い場合もあり又時としては古麻袋が多いこともあるが近年の比率は新六、舊四なりとは謂れる

第三次關稅改正問題（三）

從量從價の均衡と 脫法行爲の防止

―第二次の關稅改正―

大同二年七月の第一次關稅改正においても、農業立國資源開發の促進、排日關稅の是正、農業保護日滿經濟ブロック促進等の政策の片鱗を窺ふに足るものが無いではないが何しろ輸入稅において二十九品目、輸出稅において六品目の改訂に過ぎず、全體から見ればホンの一部分に對するものであつたゝめに、到底關係業者を滿足せしむる能はず、速かに第二次改正の斷行されんことを切望するに至り、滿洲國政府においても勿論、かくのごとき範圍の狹少なる暫定的改正をもつて滿足するものにあらず、緊急の必要を訴へられつゝあつたものから着手したわけで、更に廣範圍の改正に向つて、調査と研究を進捗せしめ、すなはち康德元年（昭和五年）十一月十五日をもつて、關稅の第二次改正率を公布し、同二十二日からこれを實施した。

× ×

今度は第一次改正の場合よりも廣範圍にわたり、百十八品目に對して行はれたが、その改正斷行の趣旨とするところは先づ滿洲國政府が自主的に關稅體系を構成せんとする意圖をもつて臨み、中華民國の制度を踏襲したことによる排日的性質を帶びた關稅按配の學理的缺陷などについて考慮が拂はれたことは、第一次改正の際と同樣である、また國際關係特に日滿經濟ブロックの緊密强化に對する努力が前回以上に傾けられたことは勿論である。

次に物價低落並びに爲替關係の變動に伴ひ從價稅が從量稅に比して著しく低率となり從量從價兩稅率の不均衡が餘りに甚だしくなつた爲從價稅を引上げ兩稅率の均衡を保たしめることに留意され、國民生活の保護並びに滿洲國內產業保護政策をも加味し、從來紙卷煙草、及び葉卷煙草、綿糸布、小麥粉、セメントに賦課されてゐた厘金稅の一種たる統稅を廢してこれを關稅に倂合しハルビンの二重課稅を廢止したるほか、從來從量稅か從價稅に比して著しく高率となつた結果、從量稅品に胡魔化しの加工をして、從價稅品として合法的脫稅行爲が行はれてゐた捺染などの綿布について、その脫法行爲の防止方法を講じた、そうして收入不減少主義を奉じたことは前回と變りがない。

× ×

右の方針に本づいて改正の行はれた結果を見ると、輸入稅において、先づ從量稅率と從價稅率との不均衡是正に關しては綿糸布類の全般にわたつて行はれ、大體において從量稅の引下げ從價稅の引上げを結果した、財政關稅の本質に合致せしめるため稅率の引下げを行ふたものは絹綿交織綿子數外十數品目あり、また綿糸布類中には不均衡是正のためばかりでなく、この目的をもつて引下げられたものもある。產業政策的見地からの改正は、小麥、小麥粉、自動車車輛及び部分品並びにタイヤ、アルコール等に對して實施され、すなはち小麥、小麥粉には新たに稅率を設け、自動車はトラック及び自家用乘用車は、從來の乘用車稅率に統一し、車體を除く部分品の稅率を引下げ、アルコールについては若干の引上げが行はれた、なほ黃麻、屑鐵、農業用機械及び同部分品に對しては、黃麻は麻袋原料に、屑鐵は製鋼原料になるものであるから稅率を引下げ、その他は農林業開發のため無稅に改めた。（水口生）

葫蘆島築港 工事進捗す

六月下旬竣工せん

葫蘆島築港護岸工事は昨春起工以來進行中であつたが結氷期に入り酷寒襲來のため進捗を妨げられしも最近寒さゆるむと共に督勵努力中であり、六月下旬迄には竣工の見込である、同機構は延長約一百六十米にして兩側を更に一、五米宛浚渫し深さ五米を掘下げ一千噸級の汽船二隻は樂に繋留し得るのである目下結氷にて定期船の其他入卅杜絕滯貨約千數百噸と云はれてゐるが近日定期船は入港する豫定であるが多眠葫蘆島も日ならずして活氣を呈するのである

二月中の 對滿支貿易

【東京國通】大藏省發表＝二月中對滿洲國、關東州、中華民國及び香港貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	五〇、〇五七
輸入	三七、二三七
計	八七、二九四
出超	一二、八二〇

一月以降累計出超　一四、八二五

之を前年同期に比すれば輸出は一割一分九厘輸入は三割一厘を夫々增加し輸出入合計に於て一割九分の增加となつた尙一月以降の輸出超過額は前年同期の二千四百九十三萬九千圓に比し一千十一萬四千圓出超減となつた

長

大阪の産業諸團體が後援となつて、四月一日を勤勞感謝デーとする運動が行はれてゐる▲非常時皇國の護りに死すとも我赴かむの氣慨に燃ゆる烈々の氣はひとり滿蒙三千里の曠野を馳驅する軍蹄下に於いてのみに止まらず、吾人の身邊各工場に於いても、銑紅の焰を吐く熔爐の邊に於いても、銑とシアベルとの差はあれ、同じく見出す事が出來る、氷點下幾十度の凍野に貴き血もて皇國の名譽を護る我等の將士への深甚なる誠意と感謝は、そのまゝにこれら勤勞戰士の汗と脂とに捧げられなくてはならないと言ふのである▲かゝる時、更生內務省では、忘れられてゐたやうな社會政策を取り戻すの意氣込みで、社會政策的諸立法並びに施設の成案を急ぎつゝある、滿洲國の此の方面に於ける用意は良いのか、われらは其處に橫はる困難な諸問題を知るが故により一層善き政治を望まざるを得ぬ▲「高率の利潤成り潑す萬骨か」

三月十九日　木曜　庚子　先負　收　奎宿　舊二月廿六日

●一白の人　舊狀を守りて積極的に出でざるを安全とす　己と癸と丑が吉

●二黑の人　諸事通達すべき幸運日開店起業普請雇用吉　巽と戌と亥が吉

●三碧の人　兎角物事の滿足を得ざる日長上に謀るが吉　辛と丑と寅が吉

●四綠の人　萬事行詰りとなりて策の施し樣なし病注意　庚と辛と丑が吉

●五黃の人　活動の自由過ぎて手落ちを生ずる事ある日　巽と巳と乾が吉

●六白の人　運勢良好にて光明の輝く如し決斷に可なり　乙と丙と丁が吉

●七赤の人　自分より不運の人ありと思ひて自省すべし　甲と戌と亥が吉

●八白の人　氣運益良化して招かずとも吉福一家に滿つ　乙と巳と丙が吉

●九紫の人　勇氣に任せて事を荒立つ可らず定業は繁昌　丙と辛と壬が吉

輸組への金融廢し 商業組合助成

滿鐵重役會議にて決定す

【大連國通】滿鐵では十七日午前松岡、大村正副總裁以下各理事出席の上重役會を開催滿鐵沿線外重要地に商業組合を設立し之に補助金を交附するの件を決定した、商業組合は日本商品輸入助成を目的として組合聯合會をして之を組織せしめるもので滿鐵としては從來輸入組合に對して行つてゐた金融を廢し代つて商業組合補助金を交附するに決定してゐる、滿鐵では十年度中には取敢へずチチハルに商業組合を設立しその成績を見た上で十一年度は錦州十二年度牡丹江、十三年度圖們に設立される豫定で十年度より十七年度までの補助金合計十萬六千餘圓である

商況欄

（三月六日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊	一九片八分五
同 先限	一九片一六分九
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	四八留比六分五
米英爲替	四弗九仙八分一
米日爲替	二八弗九八仙
米支爲替	三〇弗一五仙

▲米棉

現物	一一仙四三
三月限	一一仙三八
五月限	一〇仙九五
七月限	一〇仙五九
十月限	一〇仙一九
十二月限	一〇仙一九
一月限	[illegible]

スチール	六六弗四分一
アナコンダ	三五弗八分三
英日爲替	一志一片[illegible]
英支爲替	一志二片八分五
印日爲替	七七留比八分一

▲印棉

ブローチ	一九三留比
オームラ	一七七留比
ペンゴール	一四九留比

▲市俄古小麥

五月限	九八仙八分五
七月限	八九仙四分一
九月限	八八仙〇〇

▲カルカッタ麻袋

靑筋	二二留比〇〇
鐵筋	二〇留比二分一

金銀市況

●上海標金　昨引 [illegible]　本寄 [illegible]　步 [illegible]

●大連金鈔票　現物　寄付 [illegible]　步 [illegible]　引 [illegible]　高 [illegible]　安 [illegible]　出來高 [illegible]

三月十三日限　三月廿八日限　[illegible]　出來不申

●大連鈔票銀大洋　現物　寄付 [illegible]　步 [illegible]　引 [illegible]　出來高 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替　日本向 第一回賣買 [illegible]　第二回賣買 [illegible]　第三回賣買 [illegible]

倫敦向 第一回賣買 一志三片[illegible]　第二回賣買 [illegible]　第三回賣買 [illegible]

紐育向 第一回賣買 三〇弗一六分〇　第二回賣買 [illegible]　第三回賣買 [illegible]

▲大連爲替　上海向 一〇三、八五　臺灣向 一〇三、八〇　出來高 一〇萬五千

▲阪神日米爲替　第一回賣買 二八弗八分七 二九弗一六分[illegible]

▲阪神日英爲替　第一回賣買 一志一片三二分[illegible]

各地株式市況

▲東京株式（短期）　東新　鐘新　滿鐵　日產　大新　寄 [illegible]　引 [illegible]

▲大阪株式（短期）　大新　鐘新　東新　寄 [illegible]　引 [illegible]

▲大連株式（短期）　日產　日魯　寄 [illegible]　引 [illegible]

▲奉天株式（短期）　品新　鈔新　新鐵　滿產　東新　二新　日鐘　寄 [illegible]　引 [illegible]

五品　豆新　鐘產　日新　五品　豆新　鐘新　滿鐵　二新　電甲　同乙　東拓　滿興　滿毛　優先　日魯　東亞　[illegible]

各地商品市況

▲大阪棉糸　三月限　四月限　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限　寄 [illegible]　引 [illegible]

▲大阪棉花　當限　先限　[illegible]

▲大阪人絹　當限　先限　[illegible]

各地特產市況

●大連大豆　袋入　三月限　四月限　五月限　六月限　七月限　[illegible]

●同豆粕　現物　三月限　四月限　五月限　六月限　七月限　[illegible]

●同豆油　現物　三月限　四月限　五月限　六月限　[illegible]

●同高粱　現物　三月限　四月限　五月限　六月限　七月限　八月限　[illegible]

●哈爾濱大豆　四月限　五月限　六月限　出來高 七車　[illegible]

●同小麥　四月限　五月限　六月限　出來高　[illegible]

●神戶豆粕　三月限　四月限　五月限　六月限　七月限　出來高 七車　[illegible]

新京取引所市況

（三月六日前場）現物（一石値段）寄 引 出來高

	寄	引	出來高
大豆	[illegible]		一車
小豆			
高粱	九、[illegible]		一車
玉蜀黍			

定期（混合百斤値段）寄 引 出來高

	寄	引	出來高
大豆 三月限	[illegible]		二車
四月限	[illegible]		七車
五月限	[illegible]		
高粱 三月限	[illegible]		六車
四月限	[illegible]		二車

大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞 朝刊 【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一ヶ月壹圓 一部五錢 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

"國際政局打開の爲 各國犠牲を負擔せよ"
英外相ロカルノ小委員會で強調
三國代表覺書を提出

【ロンドン十七日發國通】ロカルノ小委員會は十七日午前十一時から英國外務省に於て開會、英、佛、伊、白四國代表出席の下に新たにロカルノ體制案に就き重要協議を遂げ冒頭英國イーデン外相は國際政局の行詰りを打開するには締約各國政府が各自幾分の犠牲を負擔せねばならぬ旨を強調次の如く述べた

一、ドイツ政府はライン非武裝地帶より進駐部隊の一部を撤收するか乃至非武裝地帶に要塞を構築せぬ旨を公約する事

一、佛白兩國政府に於ては從來の主張を幾分緩和する事

一、然る場合に於ては英國政府に於てライン保障條約に基く一切の義務を履行し佛白兩國が攻撃を受ける場合軍事的援助を與へる用意あり

次で英佛白三國代表は夫々覺書を提出、刻下の國際政局に對處する自國政府の立場を闡明した、フランダン外相の提示した覺書左の如し

一、ドイツ政府がロカルノ體制破棄の理由として佛ソ兩國間に於ける相互援助條約案を援用してゐる事實に鑑みフランス政府は常設國際司法裁判所に對し同條約が果してロカルノ體制に抵觸するや否や裁決を仰ぐ

一、ライン非武裝地帶に進駐したドイツ軍は一部撤收し銃砲隊はライン河右岸五十キロの地點まで撤收する事

一、ドイツ政府が右提言を受諾しない場合には聯盟理事會は直ちにドイツ政府に對し經濟制裁を加へる事

一、ライン非武裝地帶にドイツ軍の駐屯を承諾する以上締約各國政府はロカルノ體制に代位するような安全保障體制を確立せねばならぬ

各國代表の覺書を基礎に討議は前後一時間半に亘り小委員は午前零時半漸く散會した

英佛依然一致せず

【ロンドン十七日發國通】ロカルノ小委員會は十七日午後十時より英國外務省に於て開會、英代表イーデン外相、マクドナルド植相、チエンバレン藏相、佛代表フランダン外相、ベルギー代表ヴアン・ゼーランド首相、伊代表グランヂ大使出席し

一、英國政府の和協私案
一、佛白兩國政府の問責決議案

を基礎として重要討議に入つた、審議は十八日午前零時半漸く散會したが問責決議案の詮衡を主張する佛、白兩代表と和協私案により局面の圓滿打開を圖る英代表の意見は依然一致を見るに至らなかつた委員會は十八日午后より更に討議を續行する豫定である、因に英國政府の和協試案は次の通りと傳へられる

一、佛ソ兩國間の相互援助條約がロカルノ體制と相容れないか否か、獨佛兩國政府はヘーグ國際常設司法裁判所に提訴して裁斷を仰ぐ

一、ライン河の兩側に非武裝地帶を設定する事

一、ラインランドに於てドイツ政府は要塞を構築出來ず佛政府も亦現狀維持を公約して國の要塞を強化せざる事を公約する事

一、新平和機構が確立するまで非武裝地帶には國際警備軍を配置する事

聯盟理事會出席をドイツ正式受諾

【ベルリン十七日發國通】ドイツ政府は十七日午後三時理事會の招請を受諾するに決定し直ちに理事會に對しその旨を通告した、ドイツ代表團は十八日伯林を出發十九日ロンドン到着の豫定である、尚首席代表は軍縮特使フオン・リッベントロップ氏に決定した

平田侍從武官 今朝北行

【大連國通】赴旅中の平田侍從武官は十八日午前十一時十五分來連、ヤマトホテルに入つたが、十九日午前九時發あじあで北行の豫定である

對日共同戰線目標に ソ支密約進行說
—在支ソ聯當局暗躍頻り—

【上海十八日發國通】滿ソ國境の緊張、歐洲情勢の切迫等に刺戟され在支ソ聯出先官憲は南京上海を根據として全能力を上げて馮玉祥其の他南京政府部內の親ソ派に接近して對日ソ支共同戰線の結成工作に目覺しい暗躍を續けて居るが確實なる筋への情報に依ると駐支ソ聯大使と南京政府との間に秘密協定締結が進行中で駐ソ聯大使顏惠慶氏の急遽本國歸還も之が重大使命を帶びたものと解される、右ソ支密約の條件は恰も一九二六年英ソ間に結ばれたロード、カーゾン協定と同樣の性質を有するもので對日ソ支共同戰線を條件にソ聯側は

一、支那に於て共產主義的宣傳を中止する
一、反蔣介石運動團體に對して表面的支援を行はず
一、支那共產軍を支援せず

といふにあり時節柄異常な注目を惹いて居る

滿洲駐屯將兵へ
皇后陛下より繃帶御下賜

【東京國通】皇后陛下には滿洲駐屯の將兵に對し重ねて繃帶三百卷下賜の有難き御沙汰があつたので陸相代理小泉醫務局長は十八日午前十時半參內拜受し直ちに關東軍に交付の手續きを執つた、因みに事變以來繃帶下賜は實に今回で十五回目に達し合計七千七百七十卷の多きに上つてゐる

滿鐵機構統一問題
鐵道部、總局を單一機構に

【大連國通】滿鐵機構の統一問題に就き曩に滿鐵は鐵道部を奉天に移轉し鐵路總局の機構內に投合せしめる案を樹てたが之が實施には相當巨額の經費を要するためこの案を撤回し新たに鐵道部、總局を單一機構に置く技術的方法を以て臨むこととなり左の方針に基き研究を進める事となつた

一、鐵道部、鐵路總局を解體統一し新たに滿鐵社線、國線を共通經營すべき強力なる鐵道機關を設置する

二、右新機關の下に社線、國線を同時に運營すべき庶務、輸送、旅客、貨物、工作、工務、工事、電氣各課を置く

三、右機關の主體は奉天に置き同時に全滿鐵道の綜合經營上便宜のため輸送、旅客、貨物、庶務各課を奉天に其他を大連に置く、即ち人員に於ては大連奉天共現在の狀態に過不足なきを期する

四、鐵道建設局北鮮鐵道管理局は新機構に包含する

興安各省長會議
—廿五、六日蒙政部で開催—

興安各省會議は來る廿五、廿六の兩日蒙政部會議室で開催されるが當日は蒙政部關係の外總務廳、國道局、民政部、軍政部、交通部、財政部よりも諸問事項が提出される筈である、尚同會議日程は左の通りである

▲第一日（水曜日）（午前九時半開始）
一、國務總理大臣訓示
二、蒙政部大臣訓示
三、國務院總務廳長訓示
四、關東軍司令官挨拶（於官邸予定）
（午後二時開始）
一、蒙政部指示事項
二、各部指示事項並希望事項

▲第二日（木曜日）（午前九時半開始）
一、蒙政部諸問事項
二、各部諸問事項
三、各省提案事項
四、皇帝陛下賜謁（午前十一時三十分）
（午後二時開始）
一、議事午前に同じ
二、閉會挨拶

四年度以降の產業開發準備に着手

蒙政部では來る廿五六兩日興安四省省長會議を開催して今後の蒙旗行政の方針確立に資する事となつた、仍つて同會議に於ては中央の指示事項より寧ろ地方事情の報告並に意見聽取に重點を置き、特に興安四省の治安狀態が確保されてゐるに鑑み康德四年度以降は產業開發に主力を注ぐ方針である、即ち永島勸業司長を迎へて人的陣容の整備も果したので

一、家畜の貸付
二、旗種畜場の設置
三、家畜交易法施行による交易の合理化
四、其他鑛山、林業、農耕の伸展

等に向つて全般的產業調査並に之が立案實行に當る事となつた

新政綱聲明への反響

政策の實行につき政府を嚴重監視
—陸軍側の態度—

【東京國通】陸軍では廣田內閣新政綱の闡明に對しその內容の具體化を期待し今後の政策の實行に待つところありとしてゐる・即ち如何に抽象的整然たる政綱を掲げても要は實行にあり然も既に今回政府が闡明によつて天下に公約したる上は宜しく政治百般に確信的施政を行ふべきを餘儀なくされたものとなし陸軍としてはこれが具體化の推移について監視と期待とを以てゐる從つて今後政府の態度行動に關しても事態が要求すれば積極的に政府を鞭撻督促して行くものと觀られてゐる

株式方面 餘りに抽象的

【東京國通】政綱發表は一般の期待に反して抽象的のもので此點特に株式市場の人氣を刺戟するに足らなかつたが兎に角從來傳へられてゐた以上に悪材料と見るべき點もなかつたので東株に於ける値下り對策協議等もあつて軟派の利喰が比較的目立つて新東をはじめ一齊に手堅い戍行を示した、然し今朝のところではまだ單なる利喰戻しの程度で新規買は餘り出ないやうである

第一の要望は國防力の充實強化
—海軍側の態度—

【東京國通】海軍では政府の政綱發表に關し問題は今後新政策を如何に實踐に移すかにあるとしてゐる、即ち政綱に表明されてゐる內容の中にも自ら緩急があるが海軍として先づ第一に實現を要求するものは國防力の充實強化とこれに關する諸施設の整備擴充で此の點は一日も忽せに出來ないものとなし、これに關する豫算の一部は既に追加豫算に編入して、ゐるが十二年からは無條約狀態に入るのみならず主力艦の代艦建造も開始されるので十二年度以降の豫算の或程度の膨脹は現在の國際情勢に照して絕對に已むを得ないものとなしてゐる、次で國民生活の安定向上を圖る事も急務中の急務で政府は此點についても出來る限り速かにこれが實現を期せねばならぬとなしてゐる

女藍衣社員 北支で活躍

【天津十八日發國通】一時活動を停止したかに見えた北支の藍衣社員は最近再び活動を開始し、各方面に潛入し諜報勤務に就てゐるが、先日も天津の中原ダンスホールから一名の女藍衣社員が檢擧された

北支の藍衣社員操縱には專ら蔣介石夫人宋美齡が當つてゐると傳へられ、又現に淪落の梟雄馬占山は保定で藍衣社員と連絡、抗日工作に暗躍中

新內閣の財政方針
藏相の折衝を通して見た

【東京國通】十七日內外に聲明された廣田內閣の政綱によればその財政々策は單に國運の進展に伴ふ稅制の改革、財政經濟の刷新が必要なることを抽象的に表明せるに過ぎず具體的內容は今後大藏省當局で樹立し十二年度より着々その實行を計るものゝ如くで目下のところ不明瞭だが馬場藏相の持論並に就任早々發表せる聲明書等を綜合するに新內閣財政方針の大要は左の如きものと觀られてゐる

一、中央地方を通じての稅制整理を行ひその際普通歲入の增收を圖るべく一般的增稅を斷行する增稅案は內閣調査局並に大藏當局に於てこれ■立案し十二年度よりこれが實施を期す

一、一般特別兩會計の調整を圖り、鐵道、通信、專賣各特別會計の刷新を圖り官業の增收を期す

一、今後に於ける財政、特に國防費の膨脹を豫期して增稅と併せて赤字公債發行に積極的方針を採り從來の公債漸減方針を固執せず

一、金融統制により低金利政策の徹底を期し公債の低利借替に進む

一、財政內容の刷新を期し歲出に於ては諸經費の調整均衡を圖る

衆議院議長 詮衡準備に着手

【東京國通】解散後の特別議會は來る五月一日召集され同日正午正副議長の選舉が行はれる事となつたので衆議院の各派では議長、副議長候補者の詮衡に着手してゐるが議長は大體第一黨たる民政黨より出す事となり副議長を第二黨の政友會に讓る事となるべく豫想され、民政黨では議長に富田幸次郎氏を推す事に首腦部の意見一致してゐる

殘額赤字公債
發行條件の觀測

【東京國通】昭和十年度赤字公債殘額約三億圓は今月中に發行の見込みで其の條件如何は馬場新藏相の財政々策促進の闡明と關聯して財界各方面の注目するところとなつてゐるが有力銀行家の觀測では技術的見地と藏相の漸進主義と絡んで恐らく期限は從來通り二十七年程度を踏襲し只利廻り引下げの爲めに發行價額を九十八圓五十錢から一圓位引上げる程度の變更に止まるのではないかとみられてゐる

經濟界としては
政策の具體化を注視

【東京國通】廣田內閣の新政綱として舉げられた財政經濟政策は金融界の改善稅制の改革、產業貿易の伸張等を項目的に極めて漠然と述べたのみで過般馬場藏相が就任早々發表した聲明書を更に壓縮抽象化したもので何等具體的進路を示すものでなく經濟界としては靜觀の外なく政策の具體化を異常な關心を以て眺めてゐる、即ち馬場藏相は熱心なる金融統制論者であつて低金利の實施のためには特殊銀行の統制強化、進んでは一般普通銀行の預金貸出利率等についても漸次政府の壓力を以てこれを統制せんとするものと觀られ、これが具體方法、時期等は經濟界の動向を大きく左右するものであり、更に稅制改革についても傳へられる如き大衆課稅が實行される場合國民生活の安定指標を那邊に求めるか、經濟界としても非常時切拔けのために一致協力を覺悟してゐるものゝその具體案が現はれぬ限り沈默を守る外なく、唯新政策の實施に當つてあくまで急激な變革を避け實情に即した漸進主義を期待してゐる

鑛發會社 第一回定時株主總會

滿洲鑛業開發會社では二十日午前十一時より大和ホテル會議室で第一回定時株主總會が開かれるが山西理事長、王副理事長、中川、趙兩理事、王監事及財政部田中理財司長、滿鐵由所經調副委員長が出席營業報告書、貸借對照表、財產目錄及損益計算書承認が行はれる、尚本會社は創立早々として三萬二千圓の赤字を出してゐる

寺嶋代理公使に承認方訓電

【東京國通】去る二十日附を以てパラグアイ國よりフランコ革命新政府成立の旨を在アルゼンチン寺嶋代理公使宛正式通告があつた、仍つて帝國政府は寺嶋代理公使に訓電し十六日附を以てパラグアイ國外務省宛承認すべき旨回答した

大橋次長を中心に首腦部協議

外交部大橋次長は十八日午後一時着列車で歸任、同二時より外交部會議室に參集せる首腦者に對し對ソ、對蒙問題に關する日本政府との打合せの結果を報告した後同氏の報告を中心に約一時間に亘つて協議が行はれた

大橋次長 きのふ歸る

對ソ、對蒙問題に關し重要打合せのため東上中の大橋外交部次長は十八日午後一時三十分着飛行機で歸任した

結氷に埋もれてゐた馬糞が暖くなるにつれて路面に現れて來た▼又今年も馬糞にいぢめられるかと思へば市民が氣の毒である▼滿鐵、市公署では掃除人夫を總動員して馬糞の清掃に大童となつてゐるが掃き清めた後から後から馬糞は容赦なく散らかされてゆく▼何處まで續く馬糞ぞ▼馬を叱り飛ばす譯にもゆくまい▼何とか名案は無いものか▼偉い方々がお揃ひの國都だ▼この位の問題で頭痛を病むやうでは國都の將來も思ひやられる

航空往來

▲坂倉永次氏（軍人）十八日午前ハルピンへ
▲山梨武夫氏（會社員）同午後大連より
▲吉川浩氏（電々會社）同チチハルより

人事往來

▲宇佐美滿鐵旅客課長 十八日午後東京大連より
▲金井奉天署長 同奉天へ
▲生方四郎氏（會社員）同
▲松島清重氏（同）撫順へ
▲住澤龍氏（撫順セメント社員）同
▲井上茂氏（陸軍少佐）同海城へ
▲根本融氏（商業）同來京中央ホテル
▲淺井榮治郎氏（同）同
▲大塚良治氏（滿洲電氣公司）同

青木高等課長 明日歸任

東京に出張中の關東局青木高等課長は用務を終へ二十日歸京の豫定である

及川司令官 天津に入る

【天津十八日發國通】第三艦隊司令官及川中將は岩村參謀長、竹岡機關長等を帶同十七日午后八時濟南より來津した、十八日多田司令官、川越總領事等を訪問、北支一般問題に就き協議し十九日北平に赴く豫定である

社説

建設的創造的言論を
今日の事情と滿洲國の斯界

一

思ふに、怪文書の横行を咎めて、その横行を招いたところの社會不安の現狀の據つて來る所以に想到しないならば皮相の觀察たるを免れぬであらう。言論に於ける正當にして批判的建設的なるものは、今日の如き紛糾せる時代に於いてこそます〱その必要さが確認されるのである。現代日本に於いて、言論の自由がかなりに制限的な條件の下に置かれてゐることは、誰しもが知つてゐる所であらう。滿洲に於いても、此の事情はより以上の複雜な關係を反映して、表面言論の喪失をすら感ぜしめるが如き現狀を呈してゐる。もとより、許される範圍に於いて、言論機關が報道し批判すべき、し得るものは多々存する。それを回避して强力なものの前に筆を投げ、一方的な報道にのみ狂奔するのは言論機關としての自殺であり、醜態であると言はねばならぬ。

二

今日に於ける言論の歪曲は政治的强權と資本的壓力との兩方面より來てゐることをわれらは認めざるを得ぬ。日本の新聞は、ブルジョア・デモクラシーの確立を意味した普通選擧の實施を轉機として、その政治的使命を完了し、その政治的理想を喪失して、營利的色彩を濃厚にし始めたと言はれてゐる。「社會の木鐸」としての矜持は放棄され、營利機關としての發展が巨大なる新聞資本の膨脹と相俟つたと批判される。その廣汎なる配布網は成つたが、人は今や娯樂雜誌を讀むが如くにしてこれら大新聞の多くの面を購買してゐるが故に。

三

われらは、滿洲國に生れ育つた邦字新聞の獨特なる使命について考察せざるを得ぬ。特殊なる機關紙は自ら制限されたる明瞭なる局限性を有する。それらは擱いて言はず、一般的に言ふとき、海外に於ける邦字紙はその大多數がわれら海外移住民の存立發展のために寄與し、その正當なる權益を護るために努力して來たものである。今日の變化した情勢の中に在つても、その本來の使命は正しく繼承され滿洲國に於いて、日滿不可分關係の文化の領域に於ける任務の一端を自ら負ひ立つものたるべきであるとわれらは信ずる。文化國策の强力性ある樹立は、當然に此の方面に於いてもその作用を現はし來るであらう。しかし乍ら、正しくは、この來るべき新しい機構の中に傳統的な事實的技能と社會の與ふる信用とが正當に生かされてこそ、運營は眞にその效果を擧げ得るのである。われらは明朗にして建設的なものをつねに要望し來つた。この國の文化の明日に多くを期待する全滿邦人の眞正なる要望は生かされねばならぬ。

資源開發を目標に 蒙古に國道建設
昨日蒙政部で國道打合せ會議

蒙古地方に於る豐富な資源特に鑛物、森林、畜產物、水產物の開發は交通の發達に俟つものがあり興安省內の國道建設は急務とされてゐる、春季解氷期に至れば湖沼の交通は杜絕するので橋梁、渡舟等の設備も要するが十八日午前十時より蒙政部では依田次長、關口總務司長以下各幹部集り會議室で國道打合會議を開いた、尙本會議に於て蒙古地方の國道建設を具體的に決定し近日中國務院に於て開催される國道會議に上程される筈である

滿洲移住協會綱要

趣意書

東亞の歷史に一新紀元をつくりたる滿洲國の成育を培ひ東亞の平和を確保すべき最重要事項の一として先づ大和民族の移住を擧げたい滿洲移民事業は日滿兩國の關係を密接ならしめ、東亞の平和を確保するために必要缺くべからざる要件にして、同時に我農村の思想的經濟的重壓を緩和すべく、前後三回の戰役又は事變に際し、最大の犧牲を拂へる父兄の後をうけ廣漠未開の野に開拓の鍬をとるは、實に我等民族の宿命である、更に原始的粗放なる方法を墨守せる滿洲土着の農民に、發達進步せる技術知識を傳へ、その經營を改善し生活を向上せしむる上に於て、我農民を移植し目のあたり範を示す事が最捷徑であり、依て日滿兩國民の大衆的接觸と親善とを促し五族協和の實を擧ぐべきである

滿洲移民の難關として擧げられたる寒冷なる氣候、先住農民の低き生活程度、農業經營の困難、社會施設の缺乏等の諸事項は又自から之を解決するに途あり、治安は皇軍累年の努力により漸次保善せられつつある、交通機關は著しき發達を遂げつつある、然も移住者の訓練と指導とは移民事業成否の判る丶所であり、之に加ふるに大規模なる移民事業達成のため、廣大なる土地買收の必要がある、其他移住者に對する補助、移住地の公共施設、試驗場の開設等にいづれも巨額の資金を要することは言を俟たない

之を要するに滿洲の移民事業は營利的自由企業に放任すべきでない、政府は之に對して適當なる統制と助成を爲すべく同時に國民の熱誠なる後援に俟たねばならぬ、昭和七年以來拓務省は幾多の難關を排して數次の特別農業移民を送り別に二、三民間移民事業の見るべきものあれど、未だ遺憾とする點が少くない今次現地に於て移住者の金融、土地の管理、生產物の處理、其他移住者に對する各種斡旋を目的とする滿洲拓殖會社が滿洲國政府及滿鐵、三井、三菱三社の出資により近く成立を見んとするは寔に慶祝に堪えないところであるが、之と同時に我全國民的支持背景の下に滿洲移民事業の達成を圖るべき國內的機關の樹立も亦極めて肝要である、今回滿洲移住協會が設立された所以は一に速かに國論を喚起して本事業に對する國策を確立し、二には政府に對し本事業の實行に當り充分なる協力と各種の便益を供與し、三には移住者及移住希望者の爲に既設會社と呼應提携して國內に於て各種の斡旋後援を爲さむとするにある

事業概要

滿洲移民事業の一般的行政監督指導の爲めには拓務省があり、本事業の樞機を握つて居る、新京に於ては近く滿洲拓殖會社の創立を見、現地に於ける移住者の金融、移住地の處理、生產物の處理其他の斡旋に當る事になつてゐる、滿洲移住協會は前兩者の中間に立ち、一面拓務省を援けて、移住事業の遂行を圓滑ならしめ、他面新設拓殖會社と提携して、主として內地に於ける移民工作に從事する事を事業の大本とし拓務省の諒解のもとに左記事項を行はんとするものである

一、移民事業の促進及後援

滿洲移民事業は友邦滿洲國の成立した以上日本としては官民一致協力朝野を擧げて其の實行に努めなければならない、然るに乍遺憾本事業の重要性は未だ一般に認識せられて居らず、甚だしきに至りては、新滿洲國の土地政策其他の國內事情の變革をも知らず今に至りて尙移民事業の能不能を云々する者を見るの狀態である勿論本事業は容易なものではないが數次に亘りて送られた拓務省の特別農業移民其の他民間の計畫による移民も、方法に就ては幾多の失敗はあつたにしても、悲觀論者の杞憂を裏切り着々安定に向つて居り、向後は從來の試驗的意味を去り本格的事業に向つて進まねばならないのである、然も滿洲に對する移民事業は、南米其他に對するものと異り、民間の自由企業に委ぬべきものではなく、重要なる國策の一として、其の規模その方法に就て確乎たる方針を樹立し、政變に超越して此の方針を貫かねばならない、滿洲移住協會はあらゆる方法を講じて國論の統一を計り國策的移民事業の實行を監視せんとするのである、他方移民者は將來に就ては好望なる生活を約束されて居るにしても、異郷萬里の地に處女地を開拓する辛勞は、想像に餘りあるものでありのみならず又事業遂行の過程に於ては各種の犧牲者をも生ずるであらう、國內に殘れる同胞は暖かい同情を以て彼等の奮鬪を後援し、彼等の背後には國民の支持あることを知らしむる必要がある、而してこれは少數の篤志家に一任すべきものではない、滿洲移住協會は全國民に呼びかけ國民の名に於て移住者を後援し、事業の達成を助けんとするものである

二、移民事業に關する調査、宣傳及紹介

我國は維新開國以來北海道南米其他に於て移民事業に關し相當の歷史と經驗とを有つてゐる、然も國策的背景のもとに行ふべきものは滿洲移民事業を以て嚆矢とするのである、我々は內外に亘り古今の事例を充分に調査研究し、その方途を誤つてはならない、その爲には關係調査研究機關とも連絡をとり成果を擧ぐることを期する必要がある又前項の國論喚起と關聯して、滿洲移民事業に關する知識の普及を計り、移住者の眞相を如實に傳へて、須く無責任なる風說、宣傳の行はる丶餘地なからしめねばならぬ其の方法として滿洲移住協會では或は會報小冊子を發行し、或は映畫を作製し或は隨時隨所に講演會を開催する計畫を有して居る

三、移住民の斡旋

政府の計畫に依る移住者に就ては其の募集、詮衡は拓務省自ら之に當る事を立前とするのであるが募集人選の如何が、移民事業の成否に重大なる影響を有するに鑑み、又將來多數の移住者を送るべき場合を豫想し本協會が、拓務省と關係各地方機關との間に介在して、此種事務の運用を圓滑ならしむる必要が生じる、滿洲移住協會は斯る場合に備ふる爲め、取敢へず各種關係機關との連絡を密接にし、優良なる移住者の養成人選に助力を與へんとするのであつて其他の移住者に就ては、常に現地に於ける各機關と連絡を取つて情報の蒐集を計り、移住に就ての相談相手となり、渡航に關する各般の便宜を計らうとするものである

四、移住民の訓練

移住者の訓練は、將來大規模に移住者を送るべき場合に於て益々其の重要性を加ふべく、一般移住者と指導的地位に立つ者とに對し、過去の經驗と實績とに鑑みそれぞれ適當なる訓練を施す必要がある本協會は訓練に對する方針を研究確立して之を實地に行ふ計畫を有して居る

五、宿泊所の設立經營

移住者の渡航に際し成可其の費用を節約し旅行を容易ならしむる爲めに、適當の地に宿泊所を設立し、無料又は實費の程度で宿泊せしむると共に、旅行に對して萬端の世話斡旋をなすものである

六、其他移民事業達成に必要なる事項

以上各項の外滿洲移民事業達成に必要なる萬般の事項を行ふ

課稅權の移讓近く 邦人の所得調べ

課稅權移讓に伴つて來る七月一日から日本人の俸給生活者にも戶別捐が賦課されることになつたので、新京特別市公署ではこれが下調査を乘て附屬地外居住日滿人に對し一齊にその所得を申告すべくこの程、滿洲國各官廳を始め各會社銀行その他に依賴狀を發したが、前年來居住の者に對しては前年中の實收入、中途來住者に對しては本年中の收入豫算をいづれも赤裸々に申告せしめるにあつて本月中には全部取纏めることになつてゐるが、やがて課稅權撤廢の曉にもこれが第一の基本にもなるわけで、市當局では萬全を期し準備に當つてゐる

丁香盧漫筆(七五)

◎切腹講習所

樞密顧問官の河合操大將が此度肇コクの下に勃發した空前の大不祥事處置の爲種々奔走され心肝を碎かれたことは世間周知の事實であるが、事變一段落の後しみじみ嘆息しながら語はる丶には乃木將軍にして存命されたならこんな不祥事は起らなかつた筈だ、今更の如く將軍が偲ばる丶と。

× ×

乃木大將が今日まで生存さる丶といふことは有り得べからざることでは無いか、何樣相當長壽をされた當時の各軍司令官が次ぎ〱に凋落し全部他界され東鄕元帥も逝き軍參謀長であつた、上原元帥までがなくなられた今日、乃木大將の存命と申すことは一寸常識的には信ぜられない、それにも拘らず同大將が存命されたらといふことは時局に對する老將の單なる嘆息として見るべきで無く此には餘程深長な意味があることと思ふ。

× ×

一得の愚を以て敢て河合大將言外の意を忖度申上ぐるならば今日の陸軍に乃木大將の如き人が一人でも居られたら、あんな大不祥事は決して起らなかつた、又若し萬一起つたとしても昭和の乃木大將が居つたなら逋木で腹をこするやふなことはせず立派に痛い腹を切つてのけ其結果これこそ『一死報國』で肅軍の目的がこ丶に因つて大半達せられたであらう。マアこんな意味でないかと竊かに想像もし解釋もして居る次第である。尤も乃木大將が愈々腹を切るまでは何人も同將軍が腹を切らうなどとは夢想だにしなかつたのであるから昭和の乃木大將も同じ樣に世間を驚かすのかも知れぬ。

× ×

此頃寄るとさわると方々で叛亂の元將校は何故腹を切らぬ不屈至極であるなど盛んに議論をしお互に憤慨し合つて居る。切る切らぬは別問題としてこんな事に憤慨しメートルを昂げてる內は矢張日本人も頼もしいと思ふ、然し余はよく言ふてやろ。君等は痛まぬ他人の腹だから彼此れ議論するが自分の腹だつたり如何うだそう簡單には切れまい等と抑も切腹はそう簡單でなく又容易で無いから昔の武士は武士として最も重要なる教育の一として切腹を教へた。やつと物心の付く五六歲の頃から刀を如何いふ風に持つてどんな風に切るかといふ詳細の儀式を幾度も操返して丁寧に教へ、而して如何なる場合に腹を切るべきであるかと云ふ事を更らに熱心に教へた、それ程幼少から嚴重に教へ込まれてもイザといふ場合百人が百人、千人が千人まで皆潔く切腹したなどいふことはそうザラに無い點から見ても切腹が如何に六ケ數ものであるかゞ解るであらう。況んや此種教育の全然缺乏して居る今日に於てをやだ。山中の賊を討つは易く心中の賊を討つは難し、他人を犬猫を殺すやふにやつ付けても自から殺すはそう樂じやあるまい。

× ×

大體平素ちつとも教へて置かずに愈となつて何故腹を切らぬかなど云ふても教へぬことはそう簡單に出來るものじやない、女房の腹を痛めて子を生ます位の事なら教へなくても出來るかも知れぬが身體中で一當痛い自分の腹を平氣で切るなどいふことは平常の訓練なしに出來るものではない、增して如何なる場合に腹を切るかなど云ふ問題は尙の事である。滿洲事變以後軍人のサーベルが日本刀に變つて陣太刀式が出來た、これは如何しても更らに一步を進めてこの日本刀を以て如何なる場合如何に切腹すべきかと云ふことを教へなくてはならぬ。

× ×

それには兵營內に將校集會所と共に切腹講習所を設置すべきである。而して一週一二回その道の心得の將官が將校全部を集めて本當の實物教訓なら一番效果があるのであるがそうまでせずとも昔の武士が其子に教へたやうに木刀かなんかでも構はないそれで丁寧に切腹の儀式就中く最も嚴重に其心掛を教へる。そうすれば北某や西田某など千萬人集まつて策動して見た處で皇軍は微動だもするものでない、終始切腹の心掛のある思慮分別のある武士が叛亂などやる氣遣は無く、叛亂など起すやふな軍人に切腹を望むは望む方が無理であらう。

× ×

廣田首相は『一死報國』の士を集めて內閣を組織し外交官に訓辭して職場に赴く武士の氣持で外交に當れと、勇ましいことだ。仁に當つて讓らず軍部も負けては居れまい。

商況欄(三月十八日後場)

金銀市況

●上海標金 前引 [illegible] 後寄 [illegible] 步 [illegible]

●大連金鈔票 寄付 [illegible] 引 [illegible] 高 [illegible] 安 [illegible]

▲三月十三日限 出來高 [illegible] 三月二十八日限 寄付 [illegible]

●大連鈔票銀大洋 寄付 [illegible] 出來高 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回買賣 [illegible] 第二回買賣 [illegible]

▲倫敦向 第一回買賣 [illegible] 第二回買賣 [illegible]

▲紐育向 第一回買賣 [illegible] 第二回買賣 [illegible]

▲大連爲替 ▲上海向 [illegible]

株式相場

▲大連株式(短期) 寄 引

五品 豆新 鈔新 東新 鐘新 滿鐵 日產 二新 [illegible]

▲奉天株式(短期) 寄 引

滿取 東新 大新 日產 五品 豆新 鐘新 滿鐵 二甲 電乙 同拓 東興 滿毛 滿先 優督 日亞 東亞 [illegible]

各地商品市況

▲橫濱生糸 前場引 後場寄 當限 [illegible] 先限 [illegible]

●大連麻袋 現物 三八錢〇厘 三月限 [illegible]

各地特產市況

●大連大豆 寄付 引 袋入 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 [illegible]

●同 豆粕 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]

●同 豆油 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]

●同 高粱 現物 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 [illegible]

●哈爾濱大豆 四月限 五月限 六月限 [illegible]

●同 小麥 四月限 五月限 六月限 [illegible]

●神戶豆粕 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]

新京取引所市況(三月十八日後場)

現物(一石値段) 寄 引 出來高

大豆 高粱 小豆 玉蜀黍 [illegible]

定期(混合百斤値段) 大豆 三月限 四月限 高粱 三月限 四月限 [illegible]

手形交換高(十八日)

金票 [illegible] 鈔票 [illegible] 國幣 [illegible]

南滿

綠化運動の第一歩 各縣に苗木分配

安東協和會積極的に乘出す

【安東國通】協和會事務局では農業を主體とする指導精神の普及徹底の爲本年より農事試作場の設置、綠化運動の二點に重點を置いて活躍することとなつたが最近各分會より唐松、黑松、紅松等の苗木の配給申込多く鳳城縣分會十萬本を始め各縣より多數の要求あり目下實業廳に交渉中であるが植樹節の前迄には之を配給して綠化の第一歩を踏出す事となつた

渾江の發電力十六萬

南滿一帶に配電可能　滿電の調査により有力視さる

【安東國通】鴨綠江支流渾江の水力發電調査の爲滿洲電業會社雨宮技監、滿鐵長谷川技師、滿洲國服部技正一行十名は此の程朝鮮經由桓仁縣に入り數ヶ所のボーリング調査の豫定であるが現在までの結果では約十五六萬キロの發電能力を有し南滿一帶に配電し得るものと頗る有力視されてゐる

電業承德營業所長更迭

【承德國通】滿洲電業承德營業所所長竹內虎一氏は今回錦州に榮轉することゝなり谷保太郎氏は過日着任し事務引繼を了したが十七日入江副社長の來承を期し在承官民多數を招待午後六時より料亭「萬里」にて盛大なる披露宴を催した

賀來南滿瓦斯支配人來瓦

【瓦房店支局發】南滿電氣支配人賀來之憲氏は復縣長途氣車同益公司主任松本善二氏を帶同し十六日各關係筋を訪歷し今般南滿電氣が右公司に手を染めた挨拶をしたが本經營の將來につき左の如く語つた

營利事業の事でありますから全然營利を無視してやると云ふ事は出來ませんが設備に於て將たその他の事に就いては相當の犧牲も拂つて旅客なり又土地なりに對して不滿を抱かせない樣努めねばなりません、從つて自動車の如きも在來の車は充分使用に堪へ得るものの外は廢車し結局大部分は新車を入れて旅客にサービスし且つ從事員の如きは成績の良いものは全部使用する事にして居ます、尚ほ地方の意見等は出來る丈け容れる考へで居りますが何を云ふにも會社としてやれば從來の樣な利益を得る事も出來ませず當社としては一割利益見當で何とか埋め合せて行きたいと思つて居ます

宋署長以下歸瓦

【瓦房店支局發】客年七月二十日新京警察官吏練習所に入所中なりし復縣瓦房店警察署長宋恩錞、同巡官王心敏、松樹警察署長趙玉田、復東鎭警察署巡官丁文臣の四氏は何れも業を遂げ十五日歸瓦したが夫々各前任地に歸任した

義縣通信班の自動車 崖から墜落

【錦州國通】錦州報設事務所義縣通信班はトラツクを運轉新立屯を出發、新線通信電線路測量中のところ新立屯起定點十三キロの地點に於て高さ三米の崖から眞逆樣に墜落、運轉手始め所員福島、北口氏他一名は重傷、其他邦人三名は輕傷を負つた

佳木斯移民の家族入植

佳木斯に入植せる第一次第二次武裝移民の家族は昨年來小人數づゝ數回に亘つて渡滿しつゝあつたが、今回最後的に多數の家族が入植する事となり來る廿三日新潟出帆の嘉義丸にて九十名、廿六日敦賀出帆のサイベリヤ丸にて九十名各々清津に上陸、本月末迄に佳木斯の各移民地に入る豫定である

吉林神社境内に櫻の苗木移植

野原主任が一千本を寄附す

【吉林支局發】當地高等師範校の野原會計主任は一萬に近き邦人の崇仰の的である、吉林神社の境内に大和心の香に匂ふ櫻を植えて國民精神の作興に資しやうとの考へから、今回其郷里なる北海道の根室から山櫻の苗木一千本を取寄せることゝしたが、この解氷期にそれが到着するを俟つて神社内の各所に之を移植する筈である、北海道の根室は當地と略ぼ同樣の緯度であり昨年同地から試植した苗木も相當好成績を示してゐる程であるから、この千本の内の多數が首尾よく育つた數年後には神社の春は爛漫なる櫻花に飾られるであらう

東滿

授業料の徵收開始一時保留となる

各地に及す影響を考慮して　全滿民會長會議の決定を俟つ！

【吉林支局發】十六日午後開催の民會議員會にては豫て注視の的となつてゐた小學校兒童授業料徵收開始の件は事が全滿的性質を持つてゐる關係上全滿居留民會長會議の決定を待つ事として一時保留となり次に傳染病患者補助範圍縮少の件は公衆衞生の見地並に治法撤廢後の影響等をも考慮して現規定維持に決定、火葬物使用料値上げは原案を可決更に豫算委員、神社委員、會計檢査員、各區區長副區長を選定し散會した

市內の行路死亡者一日一人の割

吉林公署で救濟策考究！

【吉林國通】王道の慈光に見忘れられて街角に空しくその生を終る行路死亡者は康德二年度に於て吉林市內に三百七十八名一日一人强の割合を示してゐるが、近く市政實施後の吉林市公署に於ては之等貧民救濟策に意を用ひ野良犬の如き街の放浪者の一掃を期する事となつた、各月別行路死亡者數左の如し

	（男）	（女）	（計）
一月	三二	五	三七
二月	四二	一	四三
三月	四三	一	四四
四月	四一	一	四二
五月	二五	二	二七
六月	二四	一	二五
七月	二八	一	二九
八月	一八	一	一九
九月	一六	三	一九
十月	二四	二	二六
十一月	三八	一	三九
十二月	二七	一	二八
計	三五八	二〇	三七八

製粉工業地としてのハルビンと新京

運賃改正の及す影響に就て

去る二月一日から實施された滿鐵社線並に國鐵線の運賃改正が滿洲の產業開發、貿易振興、または國民經濟に與へる影響は頗る重大なものがあり、その遠距離遞減運賃によつて從來の經濟的關係、主として商品生產地、市場、輸送經路に著しい變革を來すであらうことが想像される、現にハルビン油房の如き大連油房に比して著しい不利な條件に置かれ、これが救濟助成策に就く政府當局の善處が要望されてゐる次第であるが、これでは油房と比肩しハルビンの二大產業である製粉工業に對する影響を考査しよう

◇……◇

小麥に就ては今次の改正運賃には特定運賃が設けられ、總局線內各驛發、總局線內各驛着小麥は車扱ひに限り普通運賃の四割減が規定されて居り、この點製粉工業助成策の意味が含まれてゐる、然しこれをハルビン中心に實際の運賃からみると海倫、ハルビン間（二二七キロ）の小麥普通運賃は車扱ひ一瓲十圓十七錢で、特定運賃を適用しても四圓三十九錢で舊率の特定運賃四圓二十八錢に比べれば却つて十一錢の値上りとなつてゐる、北安、ハルビン間（三三三キロ）の遠距離にして初めて舊率運賃に比し三錢方引下げの恩惠に浴し得るに過ぎない、ハルビン製粉工場が使用する原料小麥は大體ハルビンを中心として鐵道里程百キロ乃至三百キロ內のものであるから實際上何等惠まれる點はないと言つていい試みに哈爾濱より小麥生產地に遠い新京とを比較すれば新運賃によつて新京製粉業者の受ける利益が明瞭となる

◇……◇

濱北線海倫產小麥をハルビン製粉工場で加工した上新京に輸送する場合と新京製粉工場が海倫產小麥を使用し加工する場合の運賃差を比較すると

海倫、新京間小麥運賃（四級品特定率）　八圓二十六錢

海倫、哈爾濱間（小麥）哈爾濱、新京間（製粉）運賃（四級品特定率）　八圓六十九錢

即ち一瓲當り四十三錢方の開きを生じてゐるまた製粉消費地たる吉林に向けて哈爾濱、新京の工業地より輸送する場合を見ると（共に海倫產原料小麥使用と假定）

△新京製粉所負擔運賃（一瓲に付き）

原料仕入運賃（海倫、新京間）　八圓二十六錢

製品運賃（新京、吉林間）　四圓四十七錢

合計　十二圓七十三錢

△ハルビン製粉所負擔運賃（一ギロトンに付き）

原料麥仕入運賃（海倫、ハルビン間）　四圓二十九錢

製品運賃（ハルビン、吉林間、拉濱線經由）　十一圓八十三錢

合計　十五圓二十二錢

即ち同一產地の原料小麥を使用し、同一消費地に輸送し乍らハルビン製粉工場は二割弱の運賃負擔增加を來たす不合理となる、昨年中のハルビン製粉工場の生產高は六六六、二九七袋（四九封度入）でこのうち三五三、一六二袋が移出され大部分は新京、吉林その他南行であつたが新運賃によればどれだけ南行が可能であるかまたこれによつて新京製粉工場がどれだけ活況を齎らされ、輸入粉との競爭上如何なる新現象を起すだらうか兎もあれ製粉工業の中心地としての條件に於てはハルビンと新京は地位を顚倒したと言へる

朝鮮

記念綜合博物館に全國より資料蒐集

―總督府着々準備を進む―

【京城支局發】總督府施政廿五周年記念事業たる綜合大博物館は愈よ解氷期を俟つて建設工事に着手し、三年後には完成、古今の半島を代表する美術科學資源を蒐めた一大殿堂を顯現する筈で非常に期待されてゐるが、就中美術館には現在總督府の倉庫に秘藏されてゐる貴重な出土品や遺物內外古くから朝鮮と緣故關係のある人々の所藏品を全國より蒐集して陳列することになつて居り、既に總督府ではこれが準備工作のため來る二十三日より先づ學務局囑託加藤灌覺氏を福岡柳河在立花鑑寛伯の許に派遣これが交渉を開始する事になつた、立花伯は文祿の役において碧蹄館で李如松の率ゐる清の大軍を擊滅して大いに勇名馳せた小早川隆景麾下の驍將立花宗茂の子孫で同伯爵家には當時廿六才の若武者宗茂の着用した甲冑鎧をはじめ武具類數百點が所藏されて居り今回綜合博物館の建設を機に之れを朝鮮に持ち來つて國民精神作興の資に供せんとする計畫中である

第二回日滿貨物連絡會議 近く京城で開催

【京城支局發】滿洲國鐵路總局では近く京城において第二回日滿貨物連絡運輸會議を開催すべく準備中であるが右は日滿經濟ブロツク强化策と注目されてゐる內鮮滿間貨物連絡運輸に關して過般奉天における日滿四鐵道關係者によつて通し運賃に關する大綱が議せられ三月二十日よりは暫定的なものとして從來の內鮮滿連帶運賃を適用することゝして實施せらるゝが右兩國間貨物輸送に當り最重要點たる大連北鮮釜山の三經路における運賃協定の細目に關して關係間の利害關係に及ぼす影響重大たるに鑑み時を改めて熟議されることゝなつたもので近く京城にて開催される第二回會議には

一、三經路の運賃を一率にして各鐵道に應ずる背後區域の區分を決定するか若くば各經路の一性質サービスからみたる利用價値により運賃率を決定するか

二、扱貨物の品目の決定

等の諸點に亘り詳細に協議さるる筈であるなは右鐵道關係の確定の上更に船會社側との協議に入るものであると

朝鮮鐵道局の二等新車輛デビュー

【京城支局發】豫ねて朝鮮鐵道局が京城工場で製作中であつた二等寢台、二等車輛の中三輛竣工、十日試運轉の結果豫期通りの好成績を擧げたので引續き落成する一輛と共に急行第一、第二列車（ひかり）に連絡使用することになつたが新製車は最近製作され一般客車と同樣鐵管鐵板製內部は木造で設備として寢室は普通のプルマン式セミコンパートメント型、且つ寢室、普通客室共乘客の便宜安樂のため細部に改良を加へ、特に新しい試みとして喫煙室を設け電燈設備として天井には新型四灯シヤンデリヤを取つけ電扇には擴散格子を設備し、又寢室に床上を照明する電燈を設備して就眠中天井灯全部消燈しても歩行に困難ならしめ通風器の取付方まで從來の二等寢台車に比べて多大の新味を見せてゐる

吉田局長 要路と重要協議

【京城支局發】吉田朝鮮鐵道局長は過般建設課長、工務改良係長等を帶同東上、十一年度以降の鐵道建設に關し政府要路と重要協議を行ひつゝあつたが十六日伏島技師は一先づ歸任した、尚伏島技師は重要關係書類を携え十七日再び東上したが政府との協議內容は極めて重要性を帶ぶるものゝごとく殊に現計畫線滿浦線を首め未開通線の早急完成、京城、大田間複線工事の外鐵道及び主要港灣の連絡施設の合理化工作の外特殊輸送上の重要計畫を議せらるゝ模樣である、而して局長の東京滯在日程は豫定を變更四月三日まで延期されることゝなつた

總督府警務局で大本教信者動行調查

【京城支局發】總督府警務局では三十、卅一の兩日鮮內各道高等課長を總督府に召集、上內保安課長統裁の下に今回內務省より解散を命ぜられた大本教の鮮內に於ける信者の動靜査察を始め過般平壤で問題化した不祥事件等の未然防止策を中心に現下の時局に對處すべき治安維持に關し種々打合することになつた

農林局で推茸增產計畫

【京城支局發】總督府農林局は內地の推茸業者と推茸增產を打合中であつたがまづ智異山を中心として全南慶南で事業に着手するに決定し道と交渉をすることになつた、全南慶南は寺が多いからこれ等の寺を根據地として栽培をはじめ漸次北に及ぼす筈である、春秋の推茸栽培の大事な季節が乾燥するのでこれに就て多少特殊の研究が必要である

家庭

子供の時期から青年期へかけての重要な問題として、子供同志のもつ社會生活關係がありますが、親と子、先生と生徒といふ一種の階級的な關係の上にも種々な問題があるやうです。

輕く注意してやると 子供は從順に實行を誓ふ 反抗心をそゝつては不可ない 氣をつけねばならぬ子供の叱り方

親や先生などの、目上の者が子供に對する叱責の種類を多い順に調べてみますと(一)嚴しくさとす態度(二)烈しく怒つて罵詈を浴びせるもの(三)輕く注意するもの——で、次が「皮肉」と「體罰」です。叱り方は、父親——話してきかせるのと、激しく叱るのと同じ位に多く、母親——云つてきかせるのが多いが父親に較べると皮肉をいふ態度が目立つて多く、先生——さとす態度も多いが、皮肉體罰、激しい叱り方も相當あり、最も興味あるのは警官、車掌、驛夫等は、輕く注意するか、激しく叱責するか

皮肉を

いふかで、云つてきかせる態度が全くない特徴をもつてゐることです、叱られた事に對して子供がどんな態度を執るかを調べてみますと、(一)成程だ、もうくりかへすまい——と積極的な決心をもつ場合、(二)積極的ではないが一應尤もだと思ふもの、(三)初めはクソと思ふが後になつて成程とするもの、(四)一方では尤もだと思ふが、腹が立つてならぬもの、(五)表面には出さぬが、心の中では不平を持つて反抗的態度(六)顏や態度に出して明かに反抗を示すもの、と六つに分れます。それから

叱り方

がどんな結果を現すかを調べますと、(イ)輕く注意される事に對しては從順で實行を誓ふのが大部分だが、輕く反抗するのもある、(ロ)云つてきかす諭す叱り方は前よりも更に從順な態度になり反抗する者少し、(ハ)激しく叱ると從順な態度をとるものは減り表立つて反抗するのや、後では成程と思ふが最初は反抗する者などが出て來る、(ニ)皮肉に對しては反抗の態度をとる者が最も多く、體罰に較べても反抗心をそそるものが多いのです。又同じやり方でもその人に依つて結果は違ふので、父親や先生が激しく叱ると反抗少く、その反對に母親が云つてきかせる時は反抗が増してゐます。之は

母親の

云つてきかせ方は、先生や父親と違つて愚痴が多く、當を得てゐないからです。青年期へ進みつつある子供への叱り方や態度も、以上の調査からわかつてくると思ひます。

署長役場へ警官
ヲ一人ヨ
コレテ呉
レ給へ
遣シヨウ。
コレデ安心。
賄賂ツカヒノ請
負人ヲヨコシテクレ。
俺ハ町役場へ
行ッテル
カラ。
ヨシ
來タ。金
庫破リ
ノ道具ハ
要ラネエ
カ。
BUBBLING OVER
CITY HALL
俺ニ斷ラズニ面
會人ヲ入レテハ
ナランゾ。
カシコマリマ
シタ。
大變ナヒヤ
ンガ町長
サンニ面會シ
タイツテ朝カラ
待ツテマスヨ。
ソーカ。大方オカツ惚レ
デモシテル
女ダロ
ウ。

(春)は 汚れる時 ワイシャツは常に清潔に ▽……洗濯はお家庭で

いつも汚れないワイシャツを著てゐるといふことは、紳士の常識です。しかし一々洗濯屋へ出してゐたのでは經濟が大變でございます次にワイシャツの

便利な

洗濯法を紹介いたしませう。木綿類ワイシャツは漂白粉茶サジ五杯位を水一升の割に溶かした液に、布が露出しない様に充分につけ込みます。約十分間位さらしましたところへ、こんどは醋酸杯一杯を水一升に混ぜた液に浸し約數回水洗ひをいたします。もし漂白して漂白粉の臭ひがとれない場合には次に亞硫酸ソーダ茶サジ一杯を水一升にとかしたものに數分間ひたした後、水洗ひすればよろしい

漂白し

た後は充分水すゝぎをなさる事をお忘れになりませんように毛絹類ワイシャツはカフス等の折目が黄色によごれてゐる場合には、まづオキシフルをその部分につけて日にかわかします。それから全體を一應水洗ひがすみましたならば、次には漂白液です。微温湯一升に、酸性亞硫酸曹達を杯三杯ほど溶かしたものを用ひます。この

溶液の

中に布を充分浸して約十分間位そのまゝにしておきますとすつかり漂白されますから、後を充分に水洗ひすればよいのです。たゞし縞物の場合は漂白いたしません。糊付絹物には水一合にコンスターチ茶サジ半杯をとかしたものをつけます。アイロンは熱度をかるくして用ひて下さい毛織物には糊付の必要はありませんが露吹きしてやはりアイロンの熱度をかるくして仕上げます。

卒業期を前にして お嬢さん方のお髪 引つめ髪から 清楚なラウンドカール

(卒業期)を終へたお嬢さん方が、女學生時代の引詰めた無雜作な髪から、いきなり普通のウエーヴをかけますと、ごつい感じがして何だか顏ちがひのするものですが、ラウンドカールにいたしますと、ごく自然で華やかさも十分出ます。ラウンドカールは普通のウエーヴのやうに線が淺くきつちりとつかず、深く大まかなうねりをみせ、非常にやはらか味があつていく分派手なお顏に一層調和します。

(下加減)

前はウエーヴがぐつとになりましたので、單調を補ふためおくれ毛を利してカールをあしらひ抒情的に夢を殘しました。髷は有るがまゝの毛に應じて結び、若い女らしく寶石のついたクローバーの髪飾を挿しました。毛の少い方でしたらロールに細く卷いた方が流行り若々しい感じを致します。

お料理獻立

蒸カステラ

【材料】小麥粉カップ二杯、砂糖カップ二杯、鷄卵三個、水大匙一杯

【作り方】=お砂糖と卵を一緒に手頃の鍋に入れ泡立器で掻き廻し乍ら湯の中に浸し少し温めます、人肌程度に温まつた時取り出して、尙良く泡立て充分に泡立つた時水を加へ小麥粉を木篦で輕くそつと混ぜ合せます。御飯蒸の中に丁度入る樣な木枠を作つて置き、その中に布巾を敷いて用意して置きます、次に前記の作つて置いた混合物を御飯蒸の中地の木枠へ流し込み二十分間程強い蒸氣で蒸します

今日の話題

△まづ古いことでは天智天皇の近江奠都が七年三月十九日と「日本書紀」に見えてをります滋賀大津の宮でございます。

△淺野長矩殿中双傷から四日目の元祿十四年三月十八日飛報が赤穗城中に達しました。家中の大評定は翌十九日に開かれたのであります

△「一腹切融川」として世に知られた狩野方眼融川が藝術に殉じて駕籠の中で自刃したのが文化十二年の同じ日であります。

△三月十九日生れの人に後藤象二郎(天保九年)とアフリカ探險家として知られたリビングストン西暦(一八一三年)があります。

非常時災害防止期す 防護團教育計畫案(下) ——新京聯合防護團より市民へ——

其八、救護班

救護班訓練の目的は空襲時負傷者又は瓦斯中毒患者に對し速に救急、收容及治療の業務に從事し得る能力を附與するにあり。

但し治療に關する事項は醫療の經驗あるものを以て處理せしむるものとす。

教育すべき課目

一、學科

瓦斯患者及一般患者の救急法及取扱、救護法、救護班の編成、裝備各區分の任務

救護班一般の心得、所要醫療器材、醫藥の名稱取扱法

二、術科

瓦斯傷病者に對する救護要領、一般患者の救護要領、救護所に於ける勤務要領、救急法の演練、擔架の取扱法、情況下に於ける班長以下各係等の指揮法

其九、配給班

配給班訓練の目的は物資の受授配給をなし關係官公衙の業務を援助し得る程度に到らしむるにあり。

配給業務は主として關係官公衙の業務にして防護團として統一して使用する場合多くは平時より特に演練きべき程の必要なし唯其編成を完備し各自其の職務を承知しある程度にて足れり

第五、綜合教育

本教練は分團地區毎に分團長の指揮を以て教育するものとす。

本教育に於ては基礎教練、班教練に於て練成せし成果を綜合し分團地區防護計畫に基き各種情況に依る諸班協同防護の動作を演練するものとす。

教育の順序は初期は二三の班の連合演習より初め逐次範圍を擴大し終期は全般を出動せしめ警察官憲等の協力を求め分團全員の演習を以て錬成を完成す。

教育は分團を單位とする綜合教練の練成を以て概ね所期の目的を達成するも他分團(特殊分團を含む)及軍隊、警察官憲等と協同連繋を圓滿ならしむる爲毎年一、二回(夏秋の候を可とす)防護團全員を活躍せしむる防空演習を實施するを要す。

△注意事項

1、分團以上の綜合教練は軍部指導官の指導と軍隊の協力を必要とす。

2、大規模の教練演習に於ては成る可く指導官に於て其成績の講評を行ひ將來參考となるべき事項は記錄せしむるを要す。

第六、特別教育

特別教育を分けて幹部教育と指導教育との二とす。

一、幹部教育

防護團幹部は班員指導上特別の能力技倆を要す、故に幹部教育は之等特別技能を附與するを目的とす。

本教育は幹部のみ召集して講習的に教育するものと、一般教練の際特に幹部に對する指導とにより其目的を達成するものとす。

二、指導者教育

防護團員の教育は團幹部に於て實施するを本則とするも現下滿洲各地に於ける防護團にありては其能力に於て幹部も一般團員と甲乙なきを以て暫定的に特別の指導者を必要とす。

現役將校及警察官憲は概ね右の要求を滿足するも尙ほ一層之に的確なる技倆を附與する爲斯界の權威者に依囑し之等指導官に對する教育を實施する必要あるべし

第七、特殊分團教育

特殊分團の教育は概ね既述の一般教育の要領に準據し各自訓練を實施せば可なり。

特殊分團は一定の場所に集團しあるを以て其訓練は寧ろ容易なるべし。

一、教育全般に對する研究問題

一、教育指導者の決定及其教育

第六特別教育中指導者教育の部參照

二、幹部教育

一般教育の際特に幹部に對し抽出的に指導教育することは實施可能なるも特別に幹部のみを集めて教育することは容易ならざるものと信す。

故に指導者たらしむる幹部に成る可く在鄕將校、下士等を充當し其素質を利用し其教育を容易ならしむる如くするも一案ならむか。

三、一般教育に就て

一般教育に於て困難を豫想せらるゝことは被教育者の出場問題ならむ。

多數の團員を教育訓練のため屢々集合せしむることは困難なれば各班を代表する少數の基幹要員を教育するを可とせむ。

然れども主要なる教練には成る可く出場する如く工夫するを要す。

教育回數、教場等の決定は研究を要する問題なり。

四、教育手段方法

被教育者の出席率不良なるべきを豫想する本教育に於ては少なき教育回數を以て有效なる効果を收めざるべからず。

故に教育の手段方法及教育資材等は完全に準備する要あり。如何なる方法を以て之を實行するかは研究を要すべき重大問題ならむ。

五、防護團以外に於ける防護教育

防護團員の有無に關らず教育は豫定計畫せる以外凡ゆる機會及場所を利用する着眼を要す。

中小學校生徒、工場、官廳其他青年の男女集會の席上講演會等の場合を遺漏なく利用する必要あり。

六、其他の研究問題

1、特殊分團と聯合防護團との關係

2、聯合防護團と關係官公衙との連絡の實況

3、防護團の維持に關する問題

4、防護團要員の決定に關する件

以上の如き事項に關し既設防護團は如何なる對策を有するや調査研究の必要あらむ。

ラヂオ けふの番組 (M・T・C・Y 新京放送局) 十九日(木曜日)

◇朝◇

六、三〇建國體操(滿語)
六、五一ラヂオ體操(東京)
七、一〇氣象通報(大連)
七、一五中等滿語講座(大連) 講師 秩父固太郎
七、四〇中等日語講座(奉天) 講師 近藤喜助
八、一〇朝の音樂(レコード)(大連) 管絃樂「パルジファル」 ワグナー作曲 フイラデルフイヤ管絃樂團 指揮 レオポルド・ストコフスキー
八、三〇經濟市況(東京)
九、〇〇早晨演奏(大連)
九、二〇料理獻立(大連)
九、四〇經濟市況(大連)
一〇、〇〇家庭講座(大連) 小中學生入學に就て 關山勝三
一〇、二五家庭メモ
一〇、三五經濟市況(大連)
一〇、四〇經濟市況(東京)
一〇、五九時報
一一、四〇ニュース(東京、引續き新京)

◇晝◇

〇、〇一經濟市況(大連引續き新京)
〇、二〇晝の演藝(レコード) 落語讀ちがひ 立花家花橘 聲色吹き寄せ 吉岡貫駿 端唄都々逸(文句入り) 柳家三龜松
〇、四〇建國體操(滿語)
一、〇〇白天演藝(滿語) 清唱 一、南陽關 二、販馬記 老生 美鈴 胡琴 王慧敏
一、二〇ニュース(滿語)
一、三〇成人講座(哈爾濱) 建設的文學(三) 濱江省教育廳 馮文蔚
一、五〇下午演奏(大連)
二、〇〇經濟市況(大連) 引續き日用品値段(滿語)
二、五〇經濟市況(東京)
三、〇〇ニュース(東京)
三、三〇經濟市況(大連、引續き新京)
四、〇〇ニュース(鮮語)
四、三〇ニュース(鮮語) 引續き演藝
四、五〇ニュース(英語)
五、〇〇コドモの時間 音樂日記 學校生活第三學期 作並朗讀 園田正文 編曲 齊藤弘 伴奏 西廣場クワルテット
五、二〇コドモの新聞(東京) 村岡花子
五、二五氣象通報、番組豫告

◇夜◇

六、〇〇ニュース(東京)
六、二〇今晩の番組 官廳公示
六、二五政府公報(滿語)
六、三〇講演(東京) 統制經濟の話 經濟學博士 土方成美
七、〇〇民謠組曲=大阪桃谷演奏所より中繼=「春」
七、二〇清元(東京) 今樣須磨の寫繪(村雨松風) 淨瑠璃 清元巴榮太夫 同 清元若榮太夫 同 清元柏太夫 三味線 清元榮一 上調子 清元時之助
七、五〇浪花節(東京) 南部坂寺坂の注進 春日井梅鶯
八、三〇時報ニュース(東京) 引續きニュース、經濟市況 氣象通報、番組豫告(滿語)
九、〇〇舊劇 盜令探母(接昨場) 協和國劇社票友
配役 四郎 楡林小隱 六郎 春華小五 太后 張秋閣主 公主 清江漁隱 太君 春江漁隱 宗保 向陽奄主 伴奏 四名
一〇、〇〇北滿の時間(哈爾濱) 一、講演「青年の力」 二、ニュース ラザエフスキー

早春の抒情味を狙ふ 民謠組曲「春」(貴志邦三作詞 內田元作曲) 後七時 大阪桃谷演奏所より

獨唱…三浦靜子
同…阿部幸次
合唱…大阪放送合唱團
伴奏…大阪放送交響樂團
指揮…內田元

好評だつた前二回の「櫂舟」も「收穫」もともに勞作民謠に取材したが今度は想を新にして、早春の美しい抒情味に加へて人生的な民謠の深さを展開させることゝした老いたる者が寂滅の世界へ入つて行くと同じやうに、冬の季節が過ぎて行く。そして山の奥のそのまた奥にちよろちよろと流れる雪どけ水と共に。あるか無きかの微かな早春が先づ人間の世界を訪れる。さてその春はどういふ姿で我々の生活に、交渉を持つか。どこでどんな風に、我々の生活の背景となり、我々の感情の泉となるか。その變化、その種々相を、詩と音樂の融合によつて具體的に示さうとするのがこの民謠組曲「春」の意圖である。雪どけの水が大海に入るまでのさまざまの姿に假託して、春といふ季節の推移とそこに動く生活の變化とを描き出さうとするのが、この民謠組曲の目ざすところである

……阿部幸次さん

更に最後の曲に於いて、新造の船が常夏の國南洋に向けて出帆するといふ句によつて、季節の上の夏、地理の上の海外領土といふやうなものを聯想することも聽く人の自由であり、或は一個の現象が如何に異つた姿で人生に交渉するかを示さうとする哲學思想をこの中に汲み取ることも亦聽く人の自由であるそして結局早春から晩春までが醸し出す抒情詩風の世界に觸れるところがあつたならばこの組曲の全き鑑賞を行つたものと言ふことが出來るであらう。

一、冬の歌

山小屋に炭燒きながらいつしかに白髮となりぬ、先立ちし妻のかたみの藁沓も破れしまゝよ、老いし身は朽

二、山の少女の歌

木の墓に、ほそぼそと名をぞ記さむ、春くれば雪どけ水に墓の文字、消ゆるもよしや

山ふところの岨路の、ちら粉雪今朝晴れて、流れそめたる水のいろ、あるかなきかの春を告ぐ

あるかなきかの春なれど、そよそよ風の吹くまゝに、解けてうれしや人知れず、母にも告げぬ戀心

母にも告げぬ戀なれど、微かに音を忍ばせて、流るゝ水よ傳へてよ山のかなたに住むひとに

三、筏流し

灘は四十八流れてとけて、さんざ早瀬の波しぶき、さんざ早瀬の波しぶき

……三浦靜子さん

筏九十九が早瀬を下る、よいさおらはは命懸け、よいさおらはは命懸け

百里千里もおらはの棹で、どんと海まで一流れ、どんと海まで一流れ

四、水車

可愛い娘が會ひに來た、とまりやんせ、とまりやんせ、くるくる廻る水車、鉛の流れも堰きやさんせ

隣村から會ひに來た、とめしやんせ、とめしやんせ、くるくる廻る水車、花のかんざし見やしやんせ

いやさ小麥は五千石、廻りやんせ廻りやんせ、くるくる廻る水車、とめてとまらぬ春の水

娘踊れば鳥が啼く、廻りやんせ廻りやんせ、くるくると水車春の九十日廻りやんせ

五、水鏡

橋を渡るは鋼作の嫁衆、春ぢや春ぢやと浮かれて浮いてちよと水鏡、やあれ流れる春の水

わたしや愛しい殿御のために、根芹摘みにと行くわいな

髷は一番大丸髷の、赤い手柄で浮かれて浮いて、ちよと水鏡、やあれ花嫁花姿

わたしや可愛い殿御のために蜆取りにと行くわいな

六、湖畔の歌

春とはいへどさすらひの、われ湖に來てみれば、蘆はやさしく身を寄せて、少女のごとくすゝり泣く

春の愁を捨てむとて、蘆の一葉を舟にして、水に流せどこの思ひ、流れもやらず漂ひぬ

岸邊の波に浮きしづむ、われ水草にあらねども、家なき旅のさすらひの、われ水草に似たるかな

七、小川のほとり

右は清白右は榮種、なかを流れるいさら川、ションションしよんがえな

娘呼ばうと麥笛吹いて、娘まだ來ず揚雲雀、ションションしよんがえな

川のほとりで人待ち顏の、春の日長の日も暮れる、ションションしよんがえな

八、もやひ舟

首尾の逢瀬の花咲きそめて、拗ねてか水ばかり、えい水ばかり見てゐるさんす、こちら向きやんせこちの人

忍ぶ逢瀬は闇が好いなにを拗ねてか意地惡の、えい意地惡の月ぢやないか、あちら向きやんせ春の月

九、出船

春だ春だよ出船だ春だ、船は新造の二萬噸(ヤンレ捲け錨綱、ガッチラホイガッチャラホイ)括弧內以下繰返し

かけろエンヂンボイラがうなる、若いセーラの血もたぎる

沖は朝凪出船だ春だ、二本マストに鷗鳥

銅鑼が鳴る出船だ、春だ南洋通ひのヤップ丸

太郎君の音樂日記 學校生活第三學期 西廣場校の「子供の時間」

【後・五時】作並に朗讀…園田正文 編曲…齊藤弘 伴奏…西廣場クワルテット

小學校四年生太郎君の生活日記の一部です。第三學期內の學校生活を主題にしたもので出來るだけ平和なよい家庭の純眞な子供を描いた物です。

順序

一月 六日(月)始業式
一月 七日(火)新年賀狀
一月二十日(月)スケート會
一月卅一日(金)月末の反省
二月 三日(月)節分
二月 五日(水)寒い日
二月十一日(火)紀元節
二月十五日(土)誕生日
二月十七日(月)歸り途の出來事
二月十九日(水)友達の死
三月 一日(日)樂しい日曜
三月 三日(火)雛祭
三月 五日(木)友だちを迎ふ
三月 十日(火)陸軍記念日
三月十八日(水)友だちとの別れ

浪花節 南部坂寺坂の注進 春日井梅鶯さん讀切の

【後七・五〇東京から】

元祿十五年十二月十五日、足輕寺坂吉右衞門が南部坂なる內匠頭の後室瑤泉院のもとに馳けつけた。何事だらうと引見してみると、昨晩本所松坂町の吉良邸に大石良雄以下四十有餘の者が討入り、殿樣の御無念を晴し、只今高輪泉岳寺に引揚げたとの注進だつたさては昨日大石が訪れたのは他所ながらの暇乞ひであつたか、知らぬ女心に定めし腹が立つたであらうと心に詫び、討入姿そのまゝの寺坂から、昨夜本所尾上町楠屋の二階に勢揃ひし、山鹿流の陣太鼓を合圖に表門と裏門と二組に分れて討つて入り、大高、竹林其他の人々の働き振りの一部始終を聞いたそこで瑤泉院の名代として戸田の局が輿で泉岳寺に赴いて大石に對面し昨日の粗忽を謝した。寺坂は仕度を改めて但馬豐岡京極家の家老石塚源吾兵衞方に仇討の注進をするといふ一席。

學藝

早春

三宅豊子

遠くから何氣なく原つぱの方を眺めると、黄いろくうら枯れてゐた草の色が微かに、微かに青味をおびてゐるやうに見えて、私は思はず　おやと眼を凝らした。

ああ、たしかに薄青くなつてきてゐる。今年は例年になく厳しい冬で、桃の節句が過ぎたこの頃でさへ、幾日も幾日も寒い日が續いて、春もまだまだ遠いと思はれてゐたのに、知らぬ間にやはり春は來てゐたのかなあ。

こんなに寒い年でも、春が來る頃になればああして草達は薄青く萌えてくる。さうして私は、思はず何か遠いところを眺めるやうな眼つきになつてしまふ。

やがてぢきに、山々がうつとりと和やかな姿となり、ポプラの秀梢がぼうつとさみどりに霞んでくることであらう。それを思ふと、私の閉ざされた胸の中にも、一條のあたたかい流れが、ゆるやかに動き初めてくるのを感じる。

貴女の好きな季節は？　と問はれて、早春と答へたことがある。花々の咲き競ふ頃は賑やかすぎ、秋は寂しさが身にこたえすぎ、私はあたたかく靜かな早春が好きだ。

星ヶ浦に住んでゐた頃には幼い子供と手をつなぎ合ひ、海べや公園の中を歩き廻るのが愉しかつた。早春は陽の光りがしんと澄んで、何かむせびたいほどに切ないのだが、浪の音の靜かな、あたたかく陽の照る砂濱に、足を伸べて坐つてゐると、大きな、逞ましい胸の中に、しつかりと抱き締められてゐるやうに安らかで、私はほのぼのと瞼を閉ぢてゐたいと思ふのであつた。

星ヶ浦の懐かしさも、晩秋から早春の頃までである。花が咲いて、お酒臭い風が吹き公園も海べも人で埋まる頃になると、私はまるで、追はるる者のやうな寂しさにとりつかれてしまふ。

何時であつたか、國澤牛島の、小松の生えた芝生の上で自殺した女の人があつたが、あれはたしか早春の頃ではなかつたらうか。

その時も私は、子供の手をひいて散歩してゐたのだつたが、警察の自動車が驅けつけ警察の人が二人で抱き上げて自動車に乘せて行くのをチラと見ると、斷髪洋裝の若い女の人であつた。うら枯れた芝生の上には、開いたままのノートが一冊と、藤色の風呂敷包みが一つ置かれてあつた。昇汞水を飲んだらしいと、發見者らしい、何處かの御用聞きと思はれる自轉車を持つた青年が、興奮した蒼い顔つきで、他の男の人に話してゐた。

抱き上げられた時、洋裝のスカートの下から、チラとこぼれた眞赤な下着のいろに、恐らく二三流どこの女給さんでもあらうか、と思つたのであつたが、翌日かの新聞でみると沙河口邊の文學好きの細君といふことであつた。何がゆゑの自殺か知らないけれど少しも苦痛の影の見えない、安げな死顔を思ふと生きてゐることはよほど苦しかつたのであらう。私とて、何時あのやうなことにならぬとも限らぬ。

毎日々々の新聞の記事、いろいろな重大な事件。非常時だと云ふ、たしかに非常時であらう。昨今は又、獨佛間の成行が險惡となり何かしら騷がしい世界の風雲が感じられる。

そんな中にあつて、自分は又自分個人の小さい哀歡に捉はれてゐることも思はれる。私はそれを羞じるのだけれど然しそれも私にしてみれば精いつぱいなものなのであつて考へても考へても解決のつかない人生の問題なのである。

さうして又自然は、そんな個人の懊惱にも、騷々しい世界の風雲にも關はりなく、のどかな春にならうとしてゐる。この感激は平凡だけれど、私はやはりそれを思ひたい。

毎日、一通位づつ、どこかしらから訪れてくるどの手紙にも、この頃は春の來ることが書かれてある。

春が來ますね、春が來ますね、とみんな、戀人でも待つやうに書いてきてゐる。

東京から、ハルビンから、大黒河から、みんなみんな、こんなにも春を待つてゐるのだ。

私の居間の柱には、一枚の素朴な短册が飾られてある。

休日は朝より晴れぬ今日の日をどこに遊ばむ空の青さよ

まだ逢つたこともない、そして別に親しく文通をしてゐるといふでもない一人の友が遠い遠い北海道の地から、友情をこめて贈つて下さつたものだ。私はもう一年近く、この歌から、そこばくの慰めに似たものを感じてきてゐる。

滿洲の空は毎日青く晴れ上り、だが、遊びに行きたい處も思ひ當らず、毎日窓に立つて、カアテンの房などいぢくり乍ら、その透明な青い空とその下の素枯れた禿丘とを、ガラス戸越しに佗びしい顔つきで眺めてゐる私も、この頃のやうにみんなが、春がくる春がくる、とはづんだ聲で云ひかけてくると、虚しい心の底で、ああ春がくるのだ、と微かにつぶやき、春がきたら花が咲いたら、と呆んやりと思ふのである。

今日大連は珍らしい淡雪が降つた。それも朝から終日、花が散るやうに降りつづけた。私は耳の聚い子供を連れて醫者へ行く途々、はしから溶ける雪のぬかるみに、足袋も草履も汚され乍らも、顔に降りかかる雪の柔さが何かうれしく、眉毛も髪も、雪まみれになつて歩いた。

うつすらと青みがかつてゐた草原をも、雪は眞白に覆うてしまつたが、積つた柔い雪の下で、草達はやはり少しづつ薄青いいろに萌えつつゐるであらうか。

三、一二、夜

春歌（その二）

槇田周平

一人で紅茶を淹れて飲む。獨り暮しにも漸く狎れ
一人切りの夜の時間が、たつぷり水のある洗濯のように樂しいものになつた。
街には春の埃風が吹きはじめ、季節か漸く腕組みを解いた、道路からも梢枝からも、春歌が湧き、もう間もなくすちいむも息絶えるのであらう。
電燈を低く下げ、紅茶にたつぷりみるくを入れ、僕は靜かに本を讀んでゐる

般若心經（三）

鹽谷壽石

文曰

「照見五蘊皆空」

官場現形記（12）

李寶嘉作　山泰裕譯

‖第二回の二‖

屛門の前を通り越すと、堂で、上方には三つの廣間があつた。此處には卓や椅子は置いてなかつた。兩側の壁に縱横にして幾副かの銜牌が置いてあつた。「丙子科擧人」とか「庚辰科進士」とか「賜進士出身」とか「欽點主政」或ひは「江西道監察御史」とか書いてある。趙溫は胸の中ではあ、これらはみな王鄕紳自家の官銜なのだなあと思つた。その外に、あまり新しくない轎が二つ置いてあつた。更に一つの屛門を通り過ぎると大きな庭に出た。その向ふに、五つの廣間がある。時はもう十月で、大きな紅の洋布を簾に掛けてある。以前、王鄕紳が田舍に來た時に、王孝廉が銅錢を與へて燒餠を買はせたあの子供が、庭先きを小便壺手に持つてやつて來る所だつた。客を見て慌てゝ立ち停つた。彼は客を覺えてゐて王孝廉に向つてひどくていねいに挨拶をし、いついらつしやつたのです、等と聞くのであつた。王孝廉は「今來たばかりぢや」と答へた。趙溫をも見、知つてゐたやうだが、構はなかつた。話をしながら家の中に案內した。趙溫もついて行つた。

こゝは、三つの廣間と二つの部屋から出來てゐた。上方には「崇德堂」と三字を書いた額が懸けてあり、それには汪鳴　の落款があつた。趙溫は、この汪鳴　といふのがあの「能自靈齋文稿」をこしらへた栁門先生であることを知つてゐた。先生は一代の文宗であつた、覺えず肅然と崇敬の念を起した。中央に一副の御筆が懸つてゐた。「龍虎」の二字を書いてある、尤も石刻に朱を置いた代物だ。兩側には、閻丹初すなはち閻老先生の款のある對聯がある。机上には古鼎・瓶、鏡が置かれ又中程に四角な机、その兩側に八つの椅子、四つの茶卓が置いてある。上の方、梁の上にも幾つかの神龕のやうなものがあり、紅漆に金で描いてあり、甚だ美觀である。

趙溫はそれが何物であるのかが判らないので、おづおづと先輩の教を聞いたものである。王孝廉は「これは誥命を盛つた軸なのさ」と答へた。趙溫はまだ「誥命」といふのが判らない。

訊き返さうとしてゐるところに、中から王鄕紳が鞋をつつかけ、手には煙草入れを持つて出て來た。王孝廉は慌てて前方に進み、挨拶をした。王鄕紳は彼を扶け起した。續いた趙溫はもはや床にはひつくばつてゐたのである。王鄕紳はこれをも急ぎ扶け起したが口で簡單に「やあ」といつて返事してゞある。二つの脚は別に動かしはしなかつた。趙溫が立ち上るのを待つて、彼は一つ辭儀を返した。それから主客分れて腰を卸した。趙溫が掛けたのは東面した第一列の二番目の椅子であつた。王孝廉は西面した二番目の椅子に掛けた。王鄕紳は西面して三番目の椅子に掛け相手になつたのであつた。

王鄕紳は先づ最初に趙溫の祖父、父の健康を訊ねた。この時、趙溫は、彼の祖父が出發前に王鄕紳にお眼に掛つたら御機嫌伺ひをするんだぞとあれ程言つてゐた、その事を忘れ果ててゐたのである。王鄕紳の方からそれを言ひ出してもどう返事したらいいかが判らず、顔は眞つ赤になつてしまつて、口でもぐもぐ言つて、やつとの事で「元氣です」と答へただけであつた。王鄕紳はこの樣子を見て、もう彼とは話をしようとはせず王孝廉に向つて話し出したのであつた。（つゞく）

新京短歌會詠草

病氣療養のため歸京中の西安縣參事官肥後正樹氏を圍んで十三日午後七時より老松町肥後醫院で短歌會を開催持寄を朗詠披講したが、各派の歌人網羅し批評も多岐に亘つて盛會だつた、午後十二時頃散會。此の席に於いても、新京に組織ある歌人會の設立は齊しく痛感されたところで、今後は定期の歌會がひらかれる筈。

○　肥後正樹
僅か二圓の藥布團さへ敷かせ得でみまからせつと父泣きて言ふ

○　鈴木濟
雪深き討匪の野邊の夕樹々にあはくあかしやどり木の花

○　萩原四志
あはたゞしく別れ來にしが北陸に冷えて夜を吹く風おもひなり

○　關谷雅子
春のあはれいまだもえねど新京の大路の下雪とけそめにけり

○　松永美津久
かへり見る街空低く垂れこめし雲にネオンの紅にじみたる

○　稻垣輝安
月光の亂れぬ程にひろがれる夜空を見上ぐベランダに出て

○　肥後喜一郎
今日はよきことのあるべし茶柱の湯呑に三たび立つがうれしき

○　鈴木幸枝
吹き晴れの朝は輝く陽の光り窓の氷とけのしるけし

○　桃北好澄
青春の心あそばせ來りける薩摩を思ふうらつつしみて

赤ペン放送室

篠鐵の家族會議

間島の仕入蓄村龍太郎去る日曜細君と弟を連れて蒼皇と大連へ向つた、曰く「我が家の第一期計畫ほゞ成り、これから大家族會議を開き、第二次計畫へ進むんぢや」氣焔は相かはらず强烈だつたが、細君の手に持たせたはこれなん高麗の民作る所の會寧燒なる雅拙の極のスキヤキ土鍋と湯呑茶碗、これらを持つて行つて母者人や豪の妹なぞの機嫌を取結ばうとの心底讀めたが—「新京をうろつくと時節柄何かとやかましいで喃」と言つてゐたです

◇學藝消息◇

△細川明氏　豐樂路一三七の新京通信社に入社、電二、三六六四

治法撤廢後に於る 商工會議所存續問題
けふ公會堂で理事會開催 今後の方針を決定

新京滿鐵附屬地の滿洲國委讓後に於ける新京商工會議所の存續問題につき會議所理事會は今まで數回に亘り會議を開きこれが對策を考究し、且つ當局の意見も徵し大體の見透しはついてゐるが十九日午前十時から記念公會堂に理事會を開き今後の方針を決定する筈である

南大將を招待
張總理等送別宴 廿五日ヤマトホテルで

張國務總理大臣並に各部大臣は來る二十五日正午大和ホテルに滿洲建國に幾多の功績を殘して近く離滿する南前關東軍司令官を招待し盛大なる送別宴を催すこととなつた、當日は日本側各機關首腦並に政府側簡任官以上も陪席する筈である

廿四日夜 滿洲國高官に送別の挨拶

參謀本部附に轉補された前關東軍司令官南大將は二十四日午後六時から大和ホテルに滿洲國高官を招待し送別の挨拶をすることゝなつてゐる

園部少將奉天へ

【安東國通】歩兵學校長より○○○○司令官に榮轉の園部和一郎少將は令夫人、青木副官帶同、十八日午前十時「ひかり」で來安、貴賓室に少憩、出迎への別宮總務廳長中代中佐、國防婦人會員に挨拶の後、十一時發で奉天に向つたが左の如く語る

滿洲は昭和七、八、九の三年舊北鐵東部線附近で匪賊本部隊の麾下で働いたことがあつて今度は二度の勤めだ、北滿方面は前回の時によく知つて居るから今度は南滿で全力をあげてやる心算だ

久留米市の人家に 海軍戰闘機墜落
操縦者及び小兒三名燒死す

【久留米國通】十八日午後二時半頃久留米市上空で練習飛行中の海軍戰闘機二機の中一機が久留米市日吉町二丁目佐藤文房具店屋根に墜落、火災を起し同家及び隣家を全燒し更に隣りの森部病院の病室を半燒、操縦者二名及び附近道路上で遊んで居た子供三名は眞黑焦げとなつて燒死した

寒暖常ならず
興安北省の緬羊被害甚大

興安各省に於る緬羊飼育上最も季節的難關とされてゐる冬季より初春にかけては牧畜業者の一番頭を惱ますところであるが今年も最近更季節に入つて氣候の不順なる爲興安北省方面に於る緬羊は飼料缺乏し緬羊の斃れるもの續出する有様である、之は最近の暖氣により日中の雪解けが夜の冷氣により氷結する爲雪を掻き分けて枯草を食して冬を過してゐる、緬羊は氷結に枯草を蔽はれて食ふ事が出來ない爲で蓄藏乾草の少い同省では大いに恐慌を來してゐるが、省公署でも之が對策に腐心し鐵路總局の援助を得て興安南西省及び南滿地方より乾草を急送し應急對策を講じてゐる

なほ この緬羊恐慌は昭和六年にもこの方面を襲ひ全緬羊の三割に達する斃死をみた例あり爾來五ヶ年を經て漸く百二、三十頭に增加したもので、今回又これが災に遭ふ時は由々しき一大事とし蒙政部では右の應急策を講ずると共に產業助成金の一部を以て被害甚大なる北省方面の緬羊を買收し南省西省方面に移し恐慌期を脫したる後之を北省に貸付ける方策を考究してゐる

來る廿三日 室町校慰靈祭

新京室町小學校では本年度物故した五名の兒童の靈を慰めるため來る二十三日同校講堂にて慰靈祭を執り行ふことゝなつた

淨月潭の背後地に 卅萬本の植樹

帝都の喉を潤す淨月潭貯水池をめぐりその擁護の役をなすべく實業部林務司では背後地七千晌の造林用地を買收する計畫を立て先づ昨年度千五百晌を買收したが本年は更に五萬圓を投じて七百晌の土地をもとめ昨年分と合せ七百五十晌を測量し來る四月の植樹節を期して「カラマツ」「クロマツ」等約三十萬本の植樹をなすことゝなつた

◇……お彼岸の法事たけなは

國都の殿盛を彩る 視察團のたより
早くもビユーローに申込み

春來るとゝもに今年も陸續と押寄せて來る內地方面の視察團體によつて國都新京の街頭も滿洲ならではの賑々しい一風景を點綴するであらうがこれら視察團體に先驅して逸早くも新京驛並びにツーリストビユーローに申込みあつた團體は二十一日の熊本師範校生六十八名を筆頭に二十五日の廣島高等師範地歷科生等の學生團體八、一般としては廣島立石商店招待團二百九十名か六月六日來滿することゝなつてゐる、ツーリストビユーロー田口主任は

昨年の來京團體數は學生百十九、普通八十九、合計二百八團體、人員にして合計一萬四千六百四十五人となつてゐるが、例の土門嶺における列車襲擊事件で中止したものもそんな關係で今年は約二割增の渡滿團體は確實であらうと語つた

新任新京署長
猪苗代警視の横顏

今回の異動で新京署長に榮轉の猪苗代直躬警視は福島縣の生れで大正三年關東廳巡查を拜命し大正十三年警部補で新京署に勤務十四年警部に累進關東廳保安課に轉じ以來鐵嶺、撫順、貔子窩、大石橋、四平街の署長を經て昨年三月州廳警務課長に榮轉したものである同氏は現關東局警務部の最古參で且つ身長體重は局管下で右に出づるものがなく實に堂々たる體軀の持主である、同氏は實に明朗で豪膽磊落なところから部下から崇拜されてゐる(寫眞は猪苗代署長)

渡邊、加藤兩警視
廿四日赴任

今回の關東局警察官異動に依つて新京市民と縁故のあつた渡邊、加藤兩警部がそろつて警視に昇進しそれ〴〵榮轉と確定した・新本溪湖署長渡邊警視は昨年三月まで新京署警務主任として警備の萬全を期し敏腕を謳はれた、新營口署長加藤警視も同三月まで同署保安主任として過度期の保安事務を見事に處理し名主任と謳はれた、榮轉と決定した兩氏を訪れると流石に喜びをかくしきれない面で色々お世話でした今後も大いに奮闘して國家のために身を粉骨にして働くよ縁故のある市民へは貴紙を通じてよろしくと交々に語つた、渡邊警視は二十日ヒカリで、加藤警視は同日ハトで家族同伴それ〴〵赴任する

猪苗代氏から 電報の挨拶

關東州廳警務課から新京署長に補せられた猪苗代直躬警視から十八日左の挨拶電を本社に寄せ來つた

新京警察署長を拜命すよろしくお願申上ぐ　猪苗代警視

兒玉中將來京

視察中の兒玉中將は南大將に挨拶のため昨夕五時半あじあで來京した

黑河匪四百名
舊喀拉喀王府を占領

十七日興安南省警務廳よりの報告によれば去る十一日庫倫開魯間の電話線を切斷せる黑河匪四百名は八仙洞襲擊を斷念、十四日庫倫旗內舊喀拉喀王府を襲擊之を占領した、又庫倫旗西南阜新縣には周榮久南梯子の率ゐる五百餘あり、治安隊並に旗警察のみを以ては討伐意の如くならざるを以て目下通遼の日本軍の應援を俟つて之が掃蕩を行ふ筈である

周匪と通謀
庫倫旗內攪亂を企圖

興安南省公署よりの報告によれば去る十一日以來庫倫旗內を荒し廻つてゐる黑河匪は周榮久大匪團の分派にして絕えず之と連絡してゐるものゝ如く黑河匪に旗內を攪亂させ討伐隊の注意をこの方面に集めその擧に乘じて周榮久匪は庫倫始め八仙洞等同地方の主要都邑を襲擊せんと企圖しつゝあるものとみられ、日滿軍警もこの點を看破し近く周榮久匪の大掃蕩に當る事となつた

第四區副長等 拉去さる

十八日興安省警務廳よりの報告に依れば十三日庫倫旗に侵入せる黑河匪討伐に向ひたる庫倫旗第四區副長以下二十名は十四日未明匪團と遭遇交戰したるも衆寡敵せず副長(蒙古人)以下五名は拉去せられた急報に接し十四日朝興安警備軍及び旗治安隊が夫々現地に急行した

關東局卅年 史打合せに
文書課長赴連

關東局編纂の「關東局三十年史」は關東局文書課に於て鋭意完成を急ぎつつあり本年九月出版の豫定であるが、之が滿鐵及び朝鮮總督府と最後的打合せの爲御厨文書課長は十七日午后八時發にて大連へ向つた、更に文書課田主任は二十二日京城へ向ふ豫定である

十年末迄に於る
關東軍麾下の戰歿傷病者數

【東京國通】滿洲事變勃發の昭和六年九月以來十年末に至るまでの關東軍麾下の戰歿者傷病者の數が十八日陸軍省から發表された、右によると戰歿者四千二百人、內戰死二千八百八十四人、病死一千三百十六人、傷病者十七萬一千三百九十八人、內戰傷者一萬一千三百十八人、凍傷者二千五百八十八人、疾病十三萬七千六百四十七人、その他一萬九千八百五十三人となつてゐるが年別死亡者數は事變最中の昭和七年一千三百七十五人、八年八百二人から九年二百八人十年二百八十一人と減じてをり戰傷者も七年五千四百四十八人、八年三千六百六十四人から九年七百二十八人、十年七百十七人と數を減じてゐるが凍傷、疾病患者の數は些かも減じてゐない

いよ〳〵街に出た 春季競馬大ガラ
第八回壽搖彩票發賣さる

馬政局に於て曩に代賣人打合會を開催し第八回壽(大)壽搖彩票の券面金額は二圓とし總額五萬圓發賣に決定したことは既報の通りにして發賣準備も漸く完了し十六日より發賣を開始してゐるが從來の壽搖彩票は幾分高價過ぎたのと配當金額が少額であつた爲其の成績は思はしくなかつたが今回は此の點特に研究考慮され一票二圓二連式(一片一圓)と云ふ一般向に買易い價格となり配當金は豫め發賣總額に對し各代賣人の引受割當額が定まつて居りそれぞれ責任を以て發賣する關係から今回は全額發賣が確定的と見られ其の場合第一着、當籤の幸運者には最低一萬九千六百圓の配當金が轉込むこゝになるので今から其の人氣は素晴らしく街の噂となつてゐる

ハンドバック遺失

新發路末山方止宿伊藤清美さんは十八日午後二時十分ごろ千島町四丁目から八島通りを經て自宅にかへる途中客馬車に十圓紙幣九枚五圓紙幣一枚合計九十五圓在中の茶褐色ハンドバックを遺失した

中銀支行のボーイ
四千圓拐帶逃走

滿洲國中央銀行公主嶺支行ボーイ王文操(二二)は十八日午後二時ごろ公金四千圓を拐帶行方を晦ましたが新京方面に逃走せる形跡あり目下嚴探中である

宮脇氏本日歸京

赴日中の宮脇情報處長は本十九日午後九時着(ひかり)で歸任することになつた

新京驛の 二ヶ月間乘降客

國都新京の躍進實に目覺しきを見るが國都だけに新京の來京者は日を追ひ月を追ふてその數增加しつゝあるが本年も一月より二月末の二ヶ月間に於て來京した人數は著しいものがある、尙ほゆるみつゝある寒さと共に春が訪れば一層多いことであらう、今新京驛から見た一、二月二ヶ月間の乘降客を示せば

	一等	二等	三等
▲一月 乘車人員	一三一	一、五一六	[illegible]
計	四五、四〇二人		
降車人員	一三一	一、九四四	[illegible]
計	四〇、三三〇		
▲二月 乘車人員	一四〇	一、五〇五	[illegible]
計	[illegible]		
降車人員	[illegible]	一、七四五	[illegible]
計	[illegible]		

でこの數字から見れば一月は乘車人員が降車人員より五、〇六八人多く結局その間新京人がこれだけ減少した形で二月は反對の現象で降車人員が乘車人員より一一、一一八人多く新京人員がこれだけ增加した譯である

西大將病狀
經過大差なし

【東京國通】教育總監部發表―三月十八日午前中教育總監西大將の病狀はその後大概先日と大差なく經過せしも本朝來嗜眠の度を加へ意識稍々明白を缺き目下極力警戒療養に努めつゝあり

中銀印刷所を 政府直營に

滿洲國政府發行の有價證券、收入印花、郵便切手、驗記證等は從來中央銀行印刷所で印刷してゐたが康德三年度より營繕需品局は右印刷所を買收して政府直營の印刷所とし更に蒙政部印刷部をも本局に移管することとなりこれに伴ひ本局の定員を技佐四人を五人に、屬官二十人を二十五人に技士十七人を二十人に增員することとなつたが、尙營繕需品局廳舍內の印刷所は五月頃中銀印刷所跡へ移轉する筈である

採金會社 第二回定時 株主總會

滿洲採金會社では二十日午後一時半より大和ホテル會議室で第二回定時株主總會が開催されるが當日は財政部田中理財司長、實業部高橋總務司長椎名統制科長等も出席する筈で議案は左の如くである

一、營業報告書、貸借對照表財產目錄及損益計算書承認の件
一、損益金處分案承認の件
一、監事任期滿了に付選任の件
一、理事及監事退職慰勞金贈呈の件

尙本期に於ては利益金廿三萬五千圓をあげてゐるが之が處分は不明である、監事選任の件に付ては山鳥登、松浦諒助、湯淺春三氏の現監事留現任が豫想され配當は依然無配當とのことである

今は時めく滿鐵新京駐在理事として縱横無盡に快腕を振つてゐる河本大作氏、同氏こそは人も知る滿洲事變當時の鬼武者河本大佐その人であると云へば唯しも武骨一片の男と思ふであらうがさにあらず、滿洲で同氏の右に出るものなしと言はれる小唄の名人なることは一寸ご存知あるまい、某日さる唄の師匠を呼んで『一つさらへて貰ひませうか……』とやり出したところその師匠遂に兜を脫いで引きあげたとか、同氏慨嘆して『滿洲の名取りは看板程でないわい』と言つたか言はぬかさりとは一寸罪なはなし

探偵小説 **殺人技師**（上映上演）　森下雨村　茅場紫水 畫

四九 銀の鎖（三）

勘定を濟まして、例の思ひ出の種となる外套や山高帽も入つたスーツケースを手に、表通りへ出た耕太郎は自動車をひろふと、眞直ぐに東京驛へと走らせた。そして驛の一時預けに外套類を預けて、ついでに驛の食堂へ入つて夕飯を食つた。

時計を見ると、丁度六時二十分。

「少し早いな。」

彼は呟きながら、勘定を拂ふと、ぶらぶらと京橋から銀座へ出て、尾張町の角を築地の方へ足を向けた。

彼は新宿からずつと彼の後をつけて來た男が、今なほ影のやうに彼の後に見えがくれにくつついてゐることには、少しも氣がつかなかつた。

その頃は、もうすつかり日は暮れて、曇りかけた空には、ぼかしたやうな月が走つてゐた。

耕太郎は倉庫のやうな低い建物と、隣のやうな煉瓦塀にはさまれた細い道をしばらく歩いてゐたが、やがてつと右へ曲つた。その道は今までよりも、一層せまくさびしかつた。

その薄暗い道を、もの一町もゆくと、行手に紫色の電燈が見えた。

そこは兩方から大きな倉庫に押されながら、遠慮して建つてゐるやうな中二階の小さなバラックで、粗末なカーテンで目隠しをしたガラス戸には、それでも氣取つた金文字で、ユンケル酒場と書いてあつた。

耕太郎は、その扉をぎいと押した。

中は煙草の煙りの八疊くらゐの板の間で、帳場の奧には、でつぷり肥えたドイツ人が一人、横文字の新聞を讀んでゐた。客はまだ一人もなかつた。

「ビールを一つ。」

耕太郎はつかつかと部屋を横切つて、カウンターの前に立つた。そしてそのドイツ人のついでくれたジョッキを一息にあふると、ポケットからざらざらと銀貨をつかみ出した。

その時、彼はちよいと不思議なことをした。銀貨と一緒につかみ出した銀色の環のやうなものを、空になつたジョッキの下においたのだつた。

默つてジョッキを引寄せたドイツ人は、カウンターの蔭で、素早く銀の環をあらためると、もう一杯ジョッキに滿々とビールをついでさし出した。

耕太郎はジョッキの下の銀の環を取上げてポケットにしまふと、そのビールには手もつけず、右の方のトイレットの横にある小さい扉の方へ歩いていつた。

すると、中からその扉が開いて十五六の娘が顏をだした。

「お客さんゐるかい？」

娘の後について、傾斜の急な階段をのぼりながら耕太郎がいつた。

「えゝ、ゐるわ、あんた内海さんでせう？」

娘は笑ひを含んだ聲で答へた。

秘密の通路。

急な階段。

それを上つて、更に一つの扉を開くと倉庫の一部を利用した密室があつた。

そこには三人の人間がゐた。

二人は耕太郎と同年輩の青年で、隅の方でしきりに西洋將棋をやつてゐた。

今一人は、ソファの上にだらしなく寢そべつたまゝ、紫色の煙を輪に吹いてゐた。

耕太郎が入つてゆくと、三人の眼が一齊にこちらを向いた。

（來たな）といつた眼付きだつた。